

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
理念：呼吸器疾患と神経疾患を中心とした「面倒見のいい病院」の機能を高める。
当院は、政策医療、拠点・連携機関として“特殊な”医療を従来より担って
おり、地域医療構想の中においてもこれらの特色を生かした医療の実践によ
り貢献したい。

1) 政策医療 1・9分野 1・4疾患：神経・筋、重心、呼吸器疾患

a) 神経・筋

筋ジストロフィー等（療養介護事業）、連携協力医療機関

b) 重心

居宅訪問型児童発達支援事業、ポストNICU（医療スタッフの確保が必要）

* 重心医療では、小児科医の確保ができればポストNICUを展開

* 有事に人工呼吸器などを必要とする障害をもつ患者の一時避難施設として
の機能を充実させる

c) 呼吸器

結核医療（県下唯一、継続には施設の建て替えが必要）

* 結核病棟は老朽化が進み建て替えが必須。しかし採算性が悪く当院単独で
の建て替えは困難。「県・国の施策として、結核だけでなく新興感染症にも
対応する複合型感染症対策病棟としての建設。平時は、結核病棟、新興感
染症トレーニングセンター、呼吸器疾患センター（呼吸器リハビリテーシ
ョンを含む）などとして、当院が運営。有事には、新興感染症病棟に変更。
当院スタッフとともに最重症患者や感染症の専門家や応援スタッフを派遣
していただき、有事の実現には、事業主体、スタッフ確保、採算性などの検証
が必要であるが、県のコンサルタントによる医療機能再編支援事業の適応
をお願いしたい。

2) 拠点・連携機関

a) てんかん医療：2021年4月奈良県てんかん診療拠点病院に指定

目標：てんかん患者が、身近な地域で診療・福祉を受けられるようにする。

奈良県内のてんかん医療、てんかん関連福祉のハブとしての役割を果
たす。Nara epilepsy allianceを通じて、てんかん診療の1次、2次、
3次施設の協力体制の確立やてんかん医療に対する最新の知見を共有
し医療の質向上に貢献する。福祉部門の活動は、地域連携のシステム
を通して、県内のどこでも福祉関連の情報やサービスを受けられるよ
うに整備する。

b) アレルギ－：2020年3月奈良県アレルギー－疾患診療科別支援病院に指定

奈良医療センター 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

おもに重症喘息などについて近隣施設から紹介を受け積極的な治療を行っている。

3) 特別な医療 (県内において他院ではあまり行われない医療) の推進

- a) パーキンソン病・ジストニア
内科的治療、リハビリテーションだけでなく、全国屈指の外科的治療を実施している。
- b) 難治性疼痛、痙攣
従来の治療で治せない病態を脳深部刺激療法、脊髄電気刺激療法、随腔内持続注入ポンプ留置など特殊な外科治療を脳神経外科・ペインクリニック外科にて実施しており、国内においても高い実績を誇る。
従来困難とされてきた神経系の疾患を先進的治療で治す。
- c) アレルギ―
重症喘息の気管支サーマーモブラスティ等の先進医療

4) 急性期病院の受け皿としての役割

呼吸器疾患、脳卒中、神経難病で、急性期を離脱した後も専門的医療が必要な患者の受け入れを行う。

5) “特殊な” 訪問診療

慢性呼吸器疾患・重心・筋ジストロフィー・デバイスを留置したパーキンソン病患者などの対応困難事例について、現在は看護師が退院前訪問・退院後訪問を行っているが、将来的には医師による訪問診療を行っていきたい。

6) 高次脳機能障害者支援

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は担うことができる役割・機能ができればより明らかなようにご説明ください。

1) 政策医療

基幹病院としての役割の継続

特に結核・新興感染症に対応した複合型感染症対応施設への展開

2) 拠点・連携機関

てんかん、アレルギ―疾患については現在の事業継続

3) 特別な医療 (県内において他院ではあまり行われない医療)

パーキンソン病は、特殊なリハビリテーションから手術まで行う全国屈指の施設であり、今後その機能を高めたい。
重症喘息の気管支サーマーモブラスティや呼吸器リハビリテーションセンターとしての役割。

4) 急性期病院の受け皿

呼吸器疾患や脳卒中の救急医療は、県立総合医療センター等の補完的医療を担う。

5) 標榜診療科の整理

内科：呼吸器内科・消化器内科・脳神経内科・小児科・小児神経科・外科・整形外科・リウマチ科・脳神経外科・リハビリテーション科・放射線科・ペインクリニック外科・麻酔科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・循環器内科・呼吸器外科・精神科・婦人科 (休診)・心療内科 (休診)
婦人科、心療内科については標榜を取り下げ方向で検討する。

(3) (2) を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
※複数病院間の連携協定など具体的な取組 (予定も含む) があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかなるようにご説明ください。

1) 呼吸器疾患

内科 (呼吸器科) は常勤医 8 名で診療を行っている。結核や近年増加している肺非結核性抗酸菌症に対する診療は、奈良県におけるトップリーダーとして当該地域のみならず県全域において指導的な役割を果たしながら継続して行く。

当科では奈良県総合医療センターなどの急性期病院から、集中治療や急性期の治療が終わり病状の安定した呼吸器疾患患者の受け入れを積極的に行っている。当院は奈良県アレルギ―疾患診療科患者別支援病院に指定されており、気管支サーマーモブラスティなど重症喘息の治療にも積極的に取り組んでいる。アレルギ―に関する診療、情報提供、人材育成、研究、学校、児童福祉施設等におけるアレルギ―疾患対応への助言等の事業において、拠点病院をサポートし、県下のアレルギ―医療の充実のため積極的な活動に取り組む予定である。

また向後は高齢化がさらに進行し、誤嚥性肺炎や COPD などの患者が増加することが予想される。このようないわゆる「老年呼吸器病」に対する対応を強化し、増悪患者の受け入れや、在宅酸素療法などを含めた包括的リハビリテーションの体制を強化し、地域医療に貢献していきたい。また地域において在宅酸素療法、NPPV など人工呼吸器が導入されている患者のレスパイト入院、急変時への対応など「面倒見のいい病院」機能を呼吸器疾患分野でも強化する。将来的には、これら慢性呼吸器疾患患者に対する訪問診療にも対応できるように体制を変更していくことを検討している。

2) 重心、神経筋難病

重症心身障害児者の医療
NICU 等を退院した後もケアが必要となる医療的ケア児等への在宅支援として、令和 3 年より居宅訪問型児童発達支援事業を開始した。県内の各関係機関と連携し、現在毎月 30 件弱の利用がある。今後、ポスト NICU の医療的支援も

視野に入れたい。ただし、そのためには小児科医の確保ならびに専門的知識を備えた看護師の育成が課題である。

・筋ジストロフィーなどの神経筋難病

当院は「奈良県難病診療専門支援病院（神経・筋疾患群）」の指定を受けており、神経筋難病の慢性期医療を担っている。奈良県立医科大学と連携して、慢性期においても専門的で高度な医療を提供している。

3) 急性期病棟の受け皿

脳卒中では、麻痺以外に治療に難渋する脳卒中後疼痛や不随意運動を呈する症例が約10%発生する。これらの治療には、特殊なノウハウが必要で、特殊な手術や薬物療法が行われる。これらの患者を県下の急性期脳卒中を行っている病院から紹介していただく。

地域医療の中で急性期医療については、今後大きな変革が予想される。働き方改革で、医師の勤務時間の上限により厳格に管理されるために、夜間の救急診療については急性期病院が医師の勤務時間に関して厳しい制約を受ける。したがって夜間の交代勤務ができる一部の大規模急性期病院に救急患者が集中する可能性がさらに高くなると予想する。集中した病院では病床をいち早く回転させる必要があるため、他院へ回せる受け皿（後方ベッド）を十分確保することが重要になってくる。治療を行いある程度状態が落ち着いてから転院を考えると、できるだけ早期に転院を考えると、転院先を確保する必要がある。当院では、脳外科をはじめ神経系の医師が多く在籍するため、脳卒中・頭部外傷の領域では、軽症～中等症患者、経過観察のみの重症患者を比較的早期から受け入れることが可能である。手術などある程度治療が行われた場合でも、一般病院よりも早めに対応できる。また、内科、リハビリ、褥瘡管理などのスタッフも豊富であることから、チーム体制を確立すれば育損など他院では管理の難しい患者も今後当院では加療できるようなになるかもしれない。

当院の今後の方向性の1つとして、大規模急性期病院からのトリアージされた患者の急性期（～亜急性期）受け入れによって奈良県の急性期医療に貢献できると考える。

4) 訪問看護

当院は、政策医療として、結核、神経筋難病の医療を担うとともに、高齢化に伴う慢性呼吸器疾患や脳卒中後遺症等、長期療養が必要とされる医療を担っている。特にパーキンソン病の手術治療である脳深部刺激療法（DBS）を行った患者など、在宅における管理が特殊な患者が多く、他が担うことが難しく専門性が高い医療を提供している。在宅療養においては、地域の診療所や訪問看護ステーション等在宅支援者との連携をさらに強化し、入院中から在宅に向けて退院前訪問・退院後訪問を充実させ、継続して看護を提供していくことで、地域の在宅医療に貢献していく。

※行が足りない場合は空白、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

	(a) 許可病床数		最大使用病床数	(b) 評来 (R7/2025年度)	(b-a) (H28年度からR7年度)
	<H28年度>	<R3年度>			
一般病床・療養病床	高度急性期				0
	急性期				0
	重症				0
	軽症				0
	回復期	110	110	110	0
	慢性期	200	200	200	0
	休養中 (今後再開する予定)				0
休養中 (今後停止する予定)					0
(合計)	310	310	310	310	0
精神病床					0
介護医療院					0

(注1) 最大使用病床数

1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

脳卒中の外科技術指導医が2名在籍し、手術可能である。脳動脈瘤コイル塞栓術には対応していない。

脳卒中に対するtPAによる脳血栓溶解療法
担当医が勤務している時間帯では、対応可能である。

血栓除去術の脳血管内手術
血栓除去術には対応していない。(器具を常備していない)

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか? はい いいえ
- 大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- 病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

当院の勤務体制として、平日の日勤は救急医療について相当の知識および経験を有する医師が診療に従事している。夜間・休日当直帯では、1人の当直ではあるが、かかりつけ中心にできる範囲で救急に対応している。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 脳卒中中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=) 無し
- 訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- 通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

当院の特色である神経筋疾患ならびに呼吸器疾患の専門的医療の一環として、リハビリ部門においても専門性の高いスタッフを揃えている。パーキンソン病に対するリハビリ手技の一つであるLSVT法の認定療法士が2名、摂食嚥下障害の認定療法士1名、認定看護師1名、呼吸療法士の認定療法士が4名在籍しており、質の高いリハビリを実施している。

高いリハビリに対するリハビリテーションパスを作成し、多くの患者で実施している。

神経筋疾患や呼吸器疾患においてその予後を左右する摂食嚥下障害に対し、耳鼻咽喉科医師、摂食嚥下障害の認定療法士、認定看護師、栄養士からなるチームを編成して、嚥下リハビリを積極的に行っている。

急性期病院において超急性期・急性期を過ぎた患者のなかで神経筋疾患や呼吸器疾患でリハビリを必要とする患者においては、上記の通り当院で専門的リハビリを提供することが出来る。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑥の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 手術の実施 対応している 対応していない
- 化学療法の実施 対応している 対応していない
- 放射線治療の実施 対応している 対応していない
- 拠点病院等の指定 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

内科・呼吸器科にはがん治療認定医が2名在籍し、おもに肺がんの化学療法等を中心に診療を行っている。放射線治療、外科的治療が必要となる症例は奈良県総合医療センターに紹介しており、同院での症例検討会にも参加している。また外科では消化器がんの外科的治療に対応しているが、おもに当院通院中や、重症病棟、筋ジストロフィー病棟などに入院中の患者に発症した場合に治療を行っている。当院には緩和ケア認定看護師が所属しており、向後はがん患者の緩和ケアに対しては集中して取り組み、急性期病院および緩和ケア病棟を有する病院との連携を密に行っていきたい。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
- 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

予定無し

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 脳卒中に対するtPAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- 脳動脈クレンジング術 対応している 対応していない
- 開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- 脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している 対応していない
- 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
- 奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

④ 開頭血腫除去術

⑤ 脳動脈瘤クレンジング術

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ 無し 無し 対応していない
- 在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
- 在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
- 訪問リハビリの実施(再掲) 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等)について記入してください。
 当院の特徴を生かし、重症患者の居宅訪問型児童発達支援事業を行っている。今後は筋ジストロフィー患者にも展開する。

そのほか慢性呼吸器疾患やパーキンソン病、体内にデバイスを埋め込んだ患者を中心に、現在は看護師が退院前訪問・退院後訪問を行っているが、将来的には医師による訪問診療を行うことで在宅医療をすすめていきたい。

⑦訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ いいえ いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ いいえ

(はいの場合 施設名称:)

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等)について記入してください。
 高齢化に伴い、慢性呼吸器疾患や脳卒中後遺症、認知症患者の増加により、入院時から在宅に向けての支援が重要であり、入院から在宅への継続看護が求められる。当院では、特に重心、筋ジストロフィー、難治性てんかん、パーキンソン病の手術治療である脳深部刺激療法(DBS)を行った患者など、在宅における管理が特殊な患者が多く、他が担うことが難しい専門性が高い医療・看護を提供している。それらをもふまえ、在宅療養においては、地域の診療所や訪問看護ステーション等在宅支援者との連携をさらに強化する必要がある。入院中から在宅に向けての継続看護として、退院前訪問・退院後訪問を更に充実させ、当院の認定看護師が地域の訪問看護ステーション看護師と同行訪問し、処置やケアに関する情報共有や指導を行う、また、多職種との同行訪問などにより、患者がより安心して在宅療養できる体制を整備する。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」「適切な看取りに対する指針」を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等)について記入してください。
 当院の医療が担う神経筋難病等の疾患は、症状進行に伴い医学的管理的変更とその意思決定を余儀なくされる。神経筋難病患者を支えていく上で重要となるのは、①QOLの維持 ②医療的処置の選択に関する意思決定支援 ③介護者への支援 ④終末期ケアであり、神経筋難病においてもACPは大きな課題である。患者の意思決定を支援する取り組みとして、多職種連携による患者の意思決定支援が重要となる。

当院には、緩和ケア認定看護師が1名在籍しており、緩和ケア認定看護師を中心としてチームを立ち上げ、早期に患者の意思決定支援ができる体制を構築する。

⑨小児医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ いいえ いいえ
- 小児入院医療管理料の算定 している していない
- 新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加(再掲) 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等)について記入してください。
 ・常勤小児科医1名 非常勤小児科医1名(週1回 外来のみ)の体制である。

・当院の小児医療は小児神経医療・重症心身障害医療に特化している。
 ・小児神経医療としては、主にてんかん診療に力を入れている。奈良県でかんかん診療拠点機関としての役割があるため、てんかんの1次診療~3次診療までを担っている。当院で、カバーできないてんかん外科手術等は、奈良医大と連携する形をとっている。

・上記、てんかん診療以外にも、外来診療担当医は、小児神経専門医を有しており、他院で診断治療困難な神経疾患の対応も行っている。

・重症心身障害医療については、外来診療・長期入所・短期入所等を行っている。
 ・常勤小児科医が1名のため、長期入所については、医療的ケア度の高い重症小児については、入院が困難になっている。しかし、短期入所では、他院で対応困難な医療的ケア度の高い重症小児にも対応を行っている。

⑩周産期医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ いいえ いいえ
- 分娩の取扱 対応している 対応していない
- ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等)について記入してください。
 予定無し

⑪災害医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ いいえ いいえ
- 災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ いいえ いいえ
- DMA T指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ いいえ いいえ
- EMIS(広域災害救急医療情報システム)への参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能向上等)について記入してください。
 当院は平成26年8月に「災害時ににおける療養介護事業所のある医療機関への入院に関する協定書」を奈良市と締結し、大規模な地震や風水害その他の災害発生時に難病患者・長期療養児(者)・身体障害者手帳の交付を受けた者等で人工呼吸器の電源が必要な医療機器や吸引等の医療処置が必要な者の緊急入院先として指定され

ている。今後の当院の災害医療にかかる取り組みとして、令和3年7月から実施している「居宅訪問型児童発達支援事業」等を活用し看護師、児童指導員らの専門スタッフが障害児（者）等の自宅を訪問し、患者や家族への支援体制を強化していく。具体的には次の①～③に取り組んで行く。

- ①奈良県と連携し県が取り組む障害児（者）・難病患者に対する災害時の対応や支援策の情報提供を通じて患者・家族との協力体制の構築及び啓発活動
- ②災害時の患者受け入れ先医療機関や施設等の確保支援
- ③災害発生後の医療的ケア及び精神的ケア

また、上記②に関連する取り組みとして、当院のリハビリ棟などを活用し、災害時に障害児（者）等を受入れるために、医療用配管設備や人工呼吸器等を整備するなどの体制強化を奈良県の支援を受けて進めることも検討していきたい。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。
予定無し

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。
奈良県立医科大学附属病院、奈良県総合医療センターなど基幹型臨床研修病院の連携施設として研修医の受け入れを行っている。内科専門医についても連携施設として専攻医を受け入れている。サブスペシャリティー領域については神経・呼吸器・脳神経外科の各専門医プログラムの連携施設となっている。また老年科専門医については基幹型施設としてプログラムを作成し、本年度より専攻医を受け入れており、7次年度からは病院総合診療専門医研修施設基幹施設として既に認定されており、7レールギー専門医についても専門研修基幹施設として申請する予定である。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れられているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れられているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ

クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

当院は県内唯一の結核診療の中核施設として、塗抹陽性例を中心として県下から広く結核患者を受け入れている。これまでの感染症診療の経験を生かして、新型コロナウイルス感染症に対して重点医療機関として多くの患者受け入れを行っている。またICT、ICNを中心として十分な感染対策を行っており、現時点まで当院にてクラスターの発生を認めていない。当院では通常は南病棟を結核病棟（30床）とユニット化した内科（呼吸器内科）病棟（30床）として運用しているが、現在は内科（呼吸器内科）病棟を新型コロナウイルス感染症病棟として34床に増床して運用している。南病棟は築47年（1974年建築）で老朽化しているため、建て替えを検討している。

結核患者の診療については向後患者数の減少が予想されることから、結核病棟を受け入れるのではなく、各感染症指定医療機関において分担して結核患者の受け入れを行うことも検討されている。しかし各病院の特色を生かして「病院機能の集約化」を行う観点から考えると、当院が結核診療の中核施設としての機能を維持することが望ましい。

一方、結核医療の採算性は極めて悪く、現在結核医療を手掛ける多くの施設が撤退を考慮ざるをえない状況にある。

パンデミックになるような新興感染症については、今回の新型コロナウイルス感染症もそうであったように、呼吸器の障害を伴うことが多い。当院は、呼吸器のエキスパートを多数擁しており、設備と適切な感染対策を講じれば、新興感染症対策にも十分に貢献できると考えられる。

そこで、平時は、結核病棟、新興感染症トレーニングセンター、呼吸器疾患センター（呼吸器リハビリテーションを含む）などとして運用し、有事には、当院スタッフとともに最重症患者や感染症の専門家や応援スタッフを派遣していただき、新興感染症拠点病院の大本営とできる、「ハイブリッド型の呼吸器・感染症病棟」の建設を提案するものである。

この案の実現には、事業主体、スタッフ確保、採算性などの検証が必要であるため、県のコンサルタントによる医療機能再編支援事業の適応などを通してご検討願いたい。

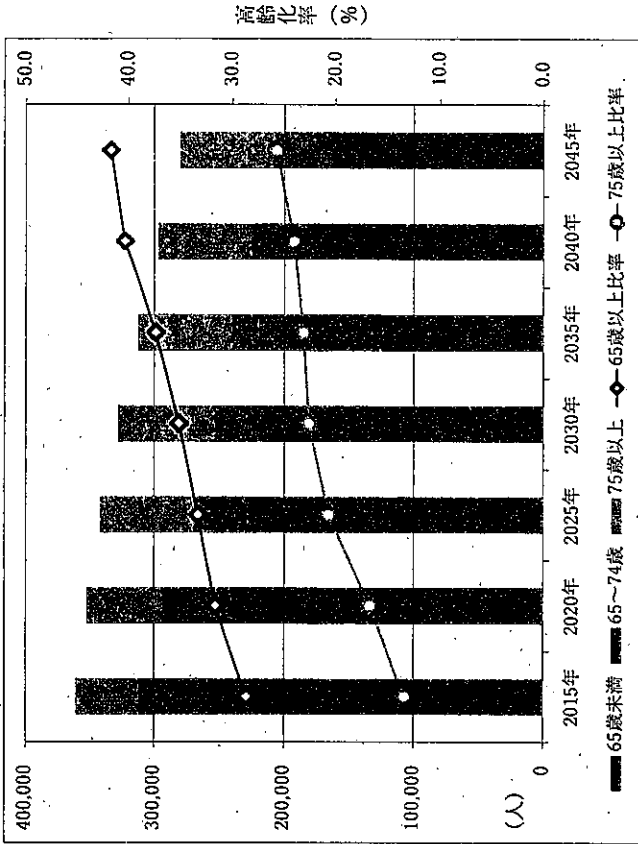
1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

奈良県地域医療構想から、奈良県は全国的に見ても高齢化のスピードが早い、と言われている。加えて、高齢化率は高くなる一方だが、人口は減少する。

人口は減少するものの70歳以上の患者数は増加する。今後、大規模災害などの外的要因がなければ、この傾向は継続するものと思われ、地域の医療ニーズは増加する。こうした超高齢化社会をむかえ、「病院完結型医療」から地域全体で支える「地域完結型医療」への対応が求められている。また、奈良県総合医療センター（以下、当センターと略す）が属する奈良医療圏における人口推移も上記と同様である（資料1）。

【資料1】奈良医療圏の人口推移



当センターは、地域において高度急性期・急性期医療の役割を担う。このためには、高度急性期を脱した患者の治療は地域の医療機関等に依頼する。また、地域の医療機関において救急治療が必要な際は、当センターにて治療を行う。2018年5月の新築移転後、これまで受診が多かったエリアから受診は減ることなく、逆に南エリア（大和郡山市、生駒郡）などの受診が増加傾向である。

奈良県総合医療センター 地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

適切な地域の医療提供体制の実現に向け、当センターは7つの役割を果たす。その7つの役割は、(1)救命救急の充実 (2)周産期医療の充実 (3)専門的ながん医療の充実 (4)小児医療 (5)糖尿病治療 (6)精神医療 (7)災害医療である。これらの役割を果たすため、救命救急センター、周産期母子医療センター、集学的がん治療センター、心臓血管センター、脳神経センターを配置し機能構築を行った。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において役割が担われない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

当センターは、奈良県地域医療構想の一つ目の目標である「高齢化社会に対応した医療提供体制の構築」の実現に向け、高度急性期医療を担う。二つ目の目標である「医療と介護、生活支援の融合」の実現は、地域の医療機関を通じて実現に向けた協力をを行う。よって、慢性期・回復期を担う地域包括ケア病床は当センターでは担わない。一方、2020年奈良県医療圏の病床機能報告によると(資料2)、高度急性期医療を提供できる医療機関が奈良医療圏では大幅に不足している。

【資料2】

奈良医療圏	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休養等	合計
2020年7月1日時点						
上段：病床数	128床	1,723床	806床	894床	81床	3,632床
下段：割合	3.5%	47.4%	22.2%	24.6%	2.2%	100.0%
2025年予定						
上段：病床数	153床	1,716床	770床	894床	61床	3,594床
下段：割合	4.3%	47.7%	21.4%	24.9%	1.7%	100.0%

出典：奈良県における医療機能ごとの病床の状況から改変
奈良県全体と比較しても高度急性期の割合は、奈良県全体が11.3%に対し奈良医療圏のそれは3.5%である(資料3)。

【資料3】

県全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休養等	合計
2020年7月1日時点						
上段：病床数	1,562床	6,591床	2,534床	2,591床	536床	13,814床
下段：割合	11.3%	47.7%	18.3%	18.8%	3.9%	100.0%
2025年予定						
上段：病床数	1,939床	6,578床	2,552床	2,511床	436床	14,016床
下段：割合	13.8%	46.9%	18.2%	17.9%	3.1%	100.0%

出典：奈良県における医療機能ごとの病床の状況から改変

なお、参考値であるが、近隣他府県の高急性期割合は、大阪府 14.9%・京都府 16.6%・和歌山県 12.3%である。上記の現状を鑑み、当センターは高度急性期医療を担い、地域の医療提供体制の充実に貢献する。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかなるようにご説明ください。

同じ二次医療圏内の医療機関と、地域連携室連絡協議会等を通じて、情報共有及び課題解決に向けた取組を行う。具体的には顔の見える関係作りの場を設け、そこで課題解決を図っていく。

また、救急病院のネットワークを立ち上げ、救急搬送を受け入れる軽症・中等症患者を地域の「面倒見のいい病院」へ転院して頂く体制を構築している。

今後は、行政と協力し、病院の機能分化について県民に理解いただくための教育と啓発を行う。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	＜H28年度＞		＜R3年度＞		(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数		
高度急性期	45	108	86	90	135	90
急性期	385	366	346	-26	359	-26
回復期				0		0
慢性期				0		0
休養中 (今後再開する予定)			20	0		0
休養中 (今後廃止する予定)				0		0
(合計)	430	494	432	64	494	64
精神病床	0	40	19	40	40	40
介護医療院				0		0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能拡小、機能廃止等）について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数故になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？

いいえ

肺、呼吸器

はい

消化器、乳腺

泌尿器、生殖器

・手術の実施

対応している

対応していない

・化学療法の実施

対応している

対応していない

・放射線治療の実施

対応している

対応していない

・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

◆がん治療

奈良県における公的基幹病院として、医学の進歩による先端の治療技術を常に導入し、高度な医療を行うよう努めている。2012年12月、当センターに手術支援ロボット「ダヴィンチ」が導入されて以来、数多くの症例に対し積極的にロボット支援下手術に取り組み、新たな治療方法として手術の精密化と患者さんへの負担軽減に貢献している。

また、安心・安全・快適に外来患者さんの化学療法を実施するために、外来化学療法室を平成18年10月に4床から開始し、現在ベッド数は20床まで拡大し、月800件程度実施。

放射線治療科では、新病院で最新機種を導入し、専門医による質の高い治療を提供できる環境になり、多門照射など複雑な照射を積極的に行っている。また、2021年8月には、高精度の治療であるIMRT（強度変調放射線治療）を開始している。

◆がんゲノム医療

遺伝カウンセリング室を2018年に設置し、臨床遺伝子専門医が常勤医として3名在籍しており、多職種が連携し遺伝カウンセリングを行っている。2020年1月より、がんゲノム医療連携病院として院内でのがん遺伝子パネル検査を実施し症例件数も増加している。今後、がんゲノム医療の拡充に伴い関連する相談件数が増加すると考えられる。

◆がん相談

がん相談支援室において、がん治療や療養について、患者、家族、地域の方の相談を受け付けており、2019年度のがん相談支援件数は、1,756件と、県内最多であった。その後もさらに増加している。がん患者の就労支援のため、2019年12月にはハローワーク奈良と協定を結び、院内で就労支援活動を行っている。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか? いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している
- 心疾患に対する外科手術の実施 対応している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。

心臓血管センターは循環器内科・心臓血管外科の2つの部門で構成されている。従来より循環器内科にて各種循環器疾患の治療を行っていたが、平成26年4月に心臓血管外科が新たに設置され、いままですべて対応できなかった手術が必要な循環器疾患の患者さんも当センターにて治療を行えるようになった。

そして、平成30年5月、奈良県総合医療センターへの移転を期に、循環器疾患の患者さんに対し、循環器内科医と心臓血管外科医がより連携し、質の高い医療を提供するため心臓血管外科センターを設立した。

循環器疾患は病気の中でも、診断、治療を最も急ぐ診療科であり、予約診療のみならず、救急疾患にも24時間対応している。

循環器内科では、24時間365日体制で狭心症、急性心筋梗塞、急性心不全などの循環器救急疾患に対応している。重症心不全に対する積極的な集中治療(PPCS、IABPなど)も行っており、心筋症、心臓弁膜疾患、不整脈、高血圧症(本態性高血圧症、2次性高血圧症など)、末梢動脈疾患などの診断や治療も行っている。心不全治療に関しては、標準的な薬物治療に加え積極的に心臓リハビリテーションを実施しており、CPX(心肺運動負荷試験)に基づいて運動療法を行っている。心臓血管外科の開心術の開始によりカテーテル治療の対象拡大しており、症例数も増加している。さらに、2019年4月から心房細動、その他の頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション治療も開始している。

心臓血管外科では、冠動脈疾患、弁膜症、心臓腫瘍、大動脈疾患、末梢血管疾患、肺脈疾患を対象としており、人工心臓を使用した冠動脈バイパス術や人工心臓を使用しないオポポンバイパス術も患者さんの状態を考慮して実施している。高齢者やハイリスク患者に対しては、低侵襲であるカテーテルを用いた人工弁置治療(TAVI法)も2021年より開始となっている。

今後も、24時間体制で専門医師及び検査等のスタッフにより心疾患の救急に取り組んでいく。

心臓血管外科の術後患者を地域の「面見のいい病院」へ転院して頂く体制を構築している。

事例として、『当センター 心臓血管外科』と『西の京病院 循環器内科』との連携がある。心臓手術を当センターで施行する前から、「術後の安定した時期に西の京病院に転院する」ことを当センターの心臓血管外科医師が患者さんに説明している。予定通り手術実施後、西の京病院の循環器内科医師が当センターに入院している患者さんのものを訪問し、当センター医師とともに診察する。患者さんにとっては、入院前から予定が明らかなのであるメリットに加え、手術前に転院する病院医師から手術前に診察を受け、手術後には手術した執刀医による診察が転院後も受けられることができ、安心感につながっている。一方、病院連携により機能分化が明確となり、双方にとってプラスの関係となっている。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか? いいえ
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している
- 脳動脈クリッピング術 対応している
- 開頭血腫除去術 対応している
- 脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している
- 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している
- 奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。

脳神経センターは脳神経内科、脳神経外科及び放射線科(神経放射線)が緊密に連携して、いろんな脳神経の病気に悩んでおられる患者さんを迅速に診断して最善の治療を行い、奈良県の基幹センターとしてすべての神経疾患に対応できる体制を整えている。

当センターでは急性期脳血管障害であるクモ膜下出血、脳内出血や脳梗塞に対する治療を集中的に行っている。従来の脳動脈瘤クリッピング術や内頸動脈内膜剥離術はもとより脳血管内治療として脳動脈瘤コイルリング術や頸動脈ステント留置術も積極的に進んでいる。脳梗塞症例もt-PA(組織プラスミノゲン活性化因子)や脳血管内治療にも常時、複数の脳神経血管内治療専門医が待機し即応する体制を整えている。

3台のMRI(3テスラMRI2台)やデジタル血管造影装置を用いて素早く診断し治療につなげている。外科治療には、ハイブリッド手術室も完備し神経モニタリングや神経内視鏡を使用して治療困難な脳動脈瘤や頭蓋底腫瘍の手術も施行。

虚血性疾患、脳梗塞、片側顔面痙攣、三叉神経痛やパーキンソン病に関しては脳神経内科医と脳神経外科医が協力して内科的治療か外科治療を適切に判断し最良の治療を行っている。

現在、当センターは一次脳卒中センターに指定されているが、北和地域の当センターの役割として、SCU設置に向けて準備をしている。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか? いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか? いいえ
- 大腿骨骨折への対応 対応している
- 病院群輪番制への参加 参加している
- 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。

2018年より救命救急センターと集中治療室(ICU)とを一体化し、治療を行

っている。組織としては、ER、HCU、ICUの3部門で成り立ちっており、通常の救急医療（救急科）に加えて、小児救急（小児救急科）、集中治療（集中治療部、ICU）の3本柱で運営。今まで通りの救命救急センターの役割、機能を加え、かつより高度な急性期治療のための集中治療室を兼ね備えた新センターでの最高の設備、環境のもと、救急医療の充実のための断らない救急の実現と高度急性期医療の充実のための集中治療部門の強化に取り組んでいる。

患者さんにとって最適な医療の提供をするため、断らない救急の実現、すなわち24時間365日の救急搬送を受け入れることを目標の一つとしている。当センターでは、軽症から重症までの救急患者さんをすべて受け入れるべく、緊急救命センターの両方の機能を兼ね備えた体制で運営している。近年救命センターは重篤な集中治療を要する患者さんを対象とした特化した治療を行う傾向になっていったが、現状として脳卒中（脳内出血、脳梗塞、くも膜下出血）、心臓疾患（心筋梗塞、心不全等）、重症呼吸器疾患、急性腹症（消化管穿孔、消化管出血、食道静脈破裂、重症肝障害、重症膵炎等）の内因性疾患、頭部外傷、多発外傷などの外因性疾患において、当センターでは病状に分け隔てなく、受け入れ治療を行うことを念頭に入れており、小児も含めた真の幅広い救急医療を行えることを切望している。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・脳卒中循環器病への早期リハビリ 対応している 床 無し 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り 対応している 無し 対応していない
- ・訪問リハビリの実施 対応している 無し 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 無し 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能紹介、機能紹介等）について記入してください。

当センターでは、「根拠に基づいた高水準のリハビリテーション医療を提供する」を目標に、各専門分野の担当療法士が、より良いリハビリを提供できるよう院内全診療科を対象として展開している。

リハビリテーションは、原則入院中の患者を中心に注力しており、早期に日常生活に戻れるよう積極的に行っている。

一部外来では、手術を受けるための準備や、手術後速やかな回復をめざし、手術前にリハビリを行っている。退院後も、リハビリテーションを必要と判断された患者を対象に一定期間のリハビリテーションを実施している。

高度急性期において、早期離床を推進するためICU入室中から積極的なリハビリテーションを実施している。また、心筋梗塞、心不全など循環器疾患については、心臓リハビリテーション外来を実施しており、運動療法による心疾患の再発予防など積極的な治療をおこなっている。

訪問リハビリや通所リハビリについては、今後も実施する予定はない。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し 無し 対応していない
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し 無し 対応していない
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 無し 無し 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能紹介、機能紹介等）について記入してください。

当センターは、高度医療・急性期医療を担っており、在宅医療を行う予定はない。在宅医療が必要な患者については、登録医や近医と連携し、自宅に帰ってもらうように安心して地域で治療が継続できるように取り組んでいく。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ 対応していない
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ 対応していない

（はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能紹介、機能紹介等）について記入してください。

当センターは、高度医療・急性期医療を担っており、訪問看護を行う予定はない。訪問看護が必要な患者については、訪問看護ステーションと連携し、自宅に帰ってもらうように安心して地域で治療が継続できるように取り組んでいく。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能紹介、機能紹介等）について記入してください。

現在、院内のアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及を推進している。

今後は、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）のシンポジウムを当センター主体で開催する予定である。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

◆小児科

当センター小児科は、北和医療圏における小児医療の拠点であり、子供の「こころ」と「からだ」を総合した専門医と、救急患者を中心とした急性期医療を提供するという役割を果たしている。日本小児科学会専門医指定研修施設に認定されており、悪性疾患と小児外科疾患を除くほとんどの小児疾患を対象とし、各医師が専門性の高い治療を行っている。

救急に関しては、全日受け入れしており、救急専用ホットラインも開設し、「ことわらない救急」を目標に、平日の日勤常の救急要請や紹介に関しては全て受け入れられている。

◆新生児集中治療部

新病院への移転に伴い、新生児集中治療管理室（NICU）12床とNICU後方病床（GCU）12床で構成されている。生まれて間もない、高度で専門的な新生児医療を必要とする新生児のための医療設備を整えた集中治療部門である。

新生児集中治療部では、出生体重1,000g以上で外科手術を要しない新生児を加療している。退院後も児の発達を見守り、発達障害や重度の障害を持つ子ども達の支援を地域の療育・訓練・医療施設や福祉と連携しながら行っている。

年間250人前後の新生児を受け入れ、新生児専用ドクターカーによる新生児搬送もしている。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

産科部門と新生児集中治療部が連携し、母体と新生児の一貫した治療を行っている。同じフロアに一連に配置し、周産期母子医療センターとして迅速かつ緊急な対応が可能である。切迫早産・前期破水・妊娠高血圧症候群、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、多胎妊娠などのハイリスク妊娠の周産期管理に重点を置いている。

母胎搬送は、奈良県内全体および京都府南部から受け入れられており、年間150件におよび、2014年以降は県内搬送依頼総数の過半数を担っている。

急性期治療後は患者さんの希望に伴い、紹介元への逆紹介も推進している。新病院への移転により、産科患者さんは増加傾向であるが、病診・病病連携を重視し、当センターが担うべき領域に専念している。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

地域災害拠点病院として、24時間いつでも災害に対する緊急対応でき、被災地域内の傷病者の受け入れ・搬出が可能な体制を整えている。

重症傷病者の受け入れ・搬送をヘリコプターなど使用して行うことができるように、これらをサポートする、十分な医療設備や医療体制、情報収集システムと、ヘリポート、緊急車両を備えている。

当センターおよびその近郊において災害が発生した際の迅速な対応および適切な処理、並びに救護の対策を図れるように年1回災害訓練を実施している。

DMAT指定医療機関の指定をうけ、当センターでもDMAT隊を2隊編成し、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期から活動できる機動性を持った体制を構築している。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

へき地医療拠点病院として、救急医療・入院医療など確保するため、ドクターヘリを受け入れるヘリポートを備え対応している。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

奈良県北和地域の基幹センターであり、「患者と心が通い合う人間味あふれる医療人」の基礎をかん養し、安全な医療を提供できる知的探求心に溢れた医師を養成す。』という理念のもとに初期研修医を受け入れている。

当センターは、NPO法人卒業臨床研修評価機構（JCPEP）による第三者評価を受審し、2011年1月1日付で認定を受けた。

卒業臨床研修評価機構とは、臨床研修病院における研修プログラムや研修状況の評価を行い、研修プログラムの改善や医師の養成に寄与することを目的とする第三者

者評価機構である。

当センターは、病院全体で研修医を育てようという風土があり、その姿勢を高く評価され、今後も卒後臨床研修の質をより一層高め、これからの医療を担う医師の育成に努めていく。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）
はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

第二種感染症指定医療機関として、感染症病床を6床有している。今回の新型コロナウイルス感染症のような、感染が拡大した場合には、一般病床を感染者対応病床として転換し、多くの患者を受け入れる体制を確保。また、HCUの陰圧工事を行い、複数の重症患者の受け入れ対応も可能である。

当センターでは、感染対策室に感染管理認定看護師を配置し、院内の感染防止対策の状況確認と指導を行い、感染対策を組織的に取り組んでいる。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について策定済の奈良県地域医療構想では現在の5保健医療圏＝構想区域と設定。当院は奈良構想区と位置づけ。

- ・奈良県地域医療構想及び奈良県保健医療計画において、4 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）5 事業（救急・災害・へき地・周産期・小児救急）について、回復期・維持期の医療提供を除き、当院は急性期病院として奈良構想区域の中で役割を担っており、同構想と医療計画に基づき、将来に渡っても現状どおりの役割を担っていかねばならないと考えている。
- ・現状においても当院は、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院、救急告示病院、循環器科ホットライン、脳卒中ホットライン、小児輪番、産科輪番など各事業及び疾病への体制を整備し、地域医療に貢献している。
- ・従来の病床機能報告どおり、引き続き、ICU・CCUの高度急性期8床を除いた残りの341床については急性期（重症急性期を中心とする病棟）としての役割を果たしていきたい。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときはあらかじめお知らせください。

1. 軽症急性期、回復期又は慢性期の役割は担わない。
実情を踏まえ断らない医療と高度急性期及び重症急性期を担う
2. 病院・診療所間の機能分化への対応
病院が行うべき外来診療への転換

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるときお知らせください。

1. かかりつけ医の推進
紹介・逆紹介の更なる推進を強化
2. 連携機関との「見える化」を構築
効率的な情報共有の推進
3. 入院時（前）における退院時環境への医療者による早期介入
患者支援センターによるP.F.M (Patient Flow Management) の促進
4. 地域連携パスの推進

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

市立奈良病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	〈H28年度〉 (a) 許可病床数		〈R3年度〉 許可病床数		〈R7/2025年度〉 (b) 将来		〈H28年度からの増減〉 (b-a)	
	高度急性期	急性期	重症	軽症	重症	軽症	重症	軽症
			8	341	8	341	0	0
			0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0
			349	349	349	349	0	0
精神病床							0	0
介護医療院							0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？

手術の実施 はい いいえ

化学療法の実施 はい いいえ

放射線治療の実施 はい いいえ

拠点病院等の指定 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

がん診療連携拠点病院の維持
 血液・腫瘍内科分野の拡充（2021.9～ 常勤医による入院診療開始）

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 はい いいえ

心疾患に対する外科手術の実施 はい いいえ

現状維持

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 はい いいえ

脳動脈クリッピング術 はい いいえ

開頭血腫除去術 はい いいえ

脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 はい いいえ

血栓除去術等の脳血管内手術 はい いいえ

脳血管疾患等への早期リハビリの実施 はい いいえ

奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

現状維持

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- 病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

現状維持

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝） 無し
- 訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- 通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

現状維持

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - 在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
 - 在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
 - 訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

在宅療養後方支援病棟の届出を行える体制構築を検討中

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：）
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

現時点では開設予定無し
近隣の訪問看護ステーションとの連携を強化

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

「医療倫理規程」において「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」の内容を忠実に踏襲する旨規定している

⑩小児医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・小児入院医療管理料の算定
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）

はい
している
している
参加している

いいえ
していない
していない
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

現状維持

⑪開産期医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・分娩の取扱い
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定

はい
対応している
している

いいえ
対応していない
していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

現状維持

⑫災害医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加

はい
はい
はい
参加している

いいえ
いいえ
いいえ
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

- 災害拠点病院の維持
- DMAT指定病院の維持

⑬へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

はい
はい

いいえ
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

へき地医療拠点病院の維持

⑭医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

はい
はい

いいえ
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

基幹型臨床研修指定病院の維持

⑮新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？

はい
はい
はい
はい
はい
はい
はい

いいえ
いいえ
いいえ
いいえ
いいえ
いいえ
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等）について記入してください。

- 「院内感染対策マニュアル」に『アウトブレイク・緊急事対応』として基準や手順・フローチャート等を規定しており、院内で共有している

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- ・当院の病床数については、現在重点医療機関としての役割を果たすべく急性期病棟1病棟を感染症病棟として運用していることから、急性期病床が大幅に制限されているもの(129床⇒86床)、引き続き病棟機能としては、現在の軽症急性期、回復期、地域包括ケアの機能を活用することによりケアミックス機能を維持する方針。
- ・病院の役割は、高度急性期病院の後方支援、ならびに地域包括ケアシステムの中核的な役割を担うべく、凡庸疾患にも対応することで役割を担うこととする。
- ・当院は、病・病連携や病・診連携を強化するために、既存の病院機能と訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所、また奈良市より委託を受けている地域包括支援センターを活用し、地域における医療・介護・福祉を旨とする役割を担う

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにしてください。

- ・奈良医療圏の医療提供体制については、高度急性期機能を担う奈良県総合医療センター、また重症急性期機能を担う奈良市立病院との連携、また当院と同様に一般急性期機能を持つ他の民間医療機関との医療機能の棲み分けが必要ではないかと考えている。
- ・当院では地域における軽症急性期患者や、高度・重症急性期を脱した患者の在宅に向けた医療支援を強化するために、二次救急受入医療機関として救急患者の受け入れや、高度医療を必要としない短期滞在手術や経過観察を必要とする軽症急性期患者の受け入れを強化することが必要ではないかと考えている。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにしてください。

- ・当院は軽症急性期医療の中心として、地域のニーズに合った医療の提供を行う
- ・地域の医療ニーズに対応するために、訪問看護ステーションや居宅介護支援事業主、地域包括支援センターを有していることから、これらの施設を活用し、介護施設や在宅診療所との連携を図り、また多職種連携にも注力することで地域包括ケアシステムの構築支援を行う方針。
- ・今後、病院周辺にJR新駅や京奈和自動車道路のICが出来ることにより地域の様相が様変わりする地域であることから、行政が検討している「医療・福祉ゾーン」の進捗と歩調を合わせて医療・福祉への取り組みを検討する。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

社会福祉法人 奈良県済生会奈良病院
地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b) 将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
	(a) 許可病床数	許可病床数	許可病床数	最大使用病床数		
一般病床	急性期					0
	重症	86	0			-86
療養病床	急性期	65	151	134	151	86
	回復期	43	43	38	43	0
介護病床	急性期					0
	休養中 (今後再開する予定)					0
療養病床	休養中					0
	休養中 (今後廃止する予定)					0
	(合計)	194	194	172	194	0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。
※選抜院については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を追加してください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか? はい いいえ

手術の実施 肺、呼吸器 消化器 泌尿器 生殖器 対応していない

化学療法の実施 対応している 対応していない

放射線治療の実施 対応している 対応していない

拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

当院では、がんに対する治療については外科(消化器・乳腺)泌尿器科、放射線科の医師が在籍しております。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか? はい いいえ

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない

心臓に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

循環器疾患についての救急対応は、常勤医師の確保が出来ない事から対応はできていない。

非常勤医による外来診療(週1回)の対応はしている。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか? はい いいえ

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない

脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない

開頭血腫除去術 対応している 対応していない

脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している 対応していない

血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない

脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない

奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

脳疾患については、保存的治療のみ神経内科医を主医師として対応している。
脳疾患発症後のリハビリテーションについては、回復期病棟にて早期実施も踏まえ行っている。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院は、救急告示病院の指定を受けており救急対応は可能。しかしながら、当直体制が1人当直であり受け入れが厳しい場合もある。主に内科・外科・その他診療科の医師が担当しており、内科以外の当直体制時には宅直制を実施している。内科医当直時は後方支援として、外科医・整形外科医がオンコール対応をしている。救急患者受入体制を強化する為、検討会を立ち上げた。小児科については、小児科二次輪番体制へ参加している。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数=43床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院は、回復期リハビリテーション病棟を有しており、重症・高度急性期病棟との連携もあり対応可能。回復期退院後のアフターフォローも推進している

訪問リハビリは、訪問看護ステーションにリハビリスタッフが常駐しており、看護師と共同で在宅リハビリを行っている。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院は、高齢者施設に対して在宅医療を提供しております。日常の健康管理・予防接種等の対応、急変時の病院への受け入れなどを行っております。

訪問リハビリについては、訪問看護ステーションにセラピストが常勤で雇用しており必要に応じ看護師と共にリハビリの実施しております。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- ・施設名称：訪問看護ステーション 野の花 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

訪問看護ステーションを併設しております。病院及び近隣の在宅を対応されている診療所の医師と連携を取り在宅医療の対応をしております。病院併設の強みを生かしレスパイトの対応 急変時に入院受入も対応しております。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

厚生省のガイドラインを遵守し、終末期医療に係る時点でACPの対応をしております。

⑩へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

該当せず。

- ⑩小児医療
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 「小児科病院二次輪番体制」に参加しておりますが、新生児対応については対応困難です
 近隣の小児科医との連携を強化し、検査、入院等の受け入れもしております。

⑪周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

該当せず。

⑫災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

EMISに参加しております。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院は協力的な医療機関です。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

新興感染症については、新型コロナウイルス感染症への取り組みと同じく、感染症発生により必要な場合は、公的医療機関としての役割を果たすべく患者受入についての対応は行方方針。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について五条山病院は奈良構想区域における、唯一の民間の単科精神科病院である。奈良市、大和郡山市、天理市を中心とする地域在住の精神障害者への、入院（急性期から療養まで）・通院医療、訪問看護・デイケアなどの医療サービス、宿泊型を含めた生活訓練・相談支援などの福祉サービス、また厚生労働省のモデル事業となっている就労支援プログラムなど、精神科に関連する医療福祉サービスをワンストップで提供できる体制を維持・強化していく。特に、人口あたりの精神科病床数は、全国平均と比較して、奈良県構想区域は68%、隣接する東和医療区域はわずか8%と、著しく少ない水準にあり、同地域の入院医療に、適切かつ速やかに応需できる体制を引続き維持・強化していく。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。
奈良構想区域における、唯一の民間の単科精神科病院として、奈良構想区域および近隣区域における、精神科医療から福祉までを一貫して提供できる体制を維持・強化していく。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

専従の看護師、精神保健福祉士（PSW）、事務職員からなる地域医療連携室、常勤PSWからなる医療福祉相談室を設けている。これまでからクリニック、一般病院、保健所・警察署・奈良県庁等の行政機関との連携を丁寧に行い、精神科医療の必要な患者の速やかな受け入れ、一般医療を必要とする精神障害者の一般病院への紹介、精神障害者の地域移行時の地域医療福祉サービスへの円滑な移行などを実現している。これらの取り組みは、「県内の精神科医療連携を強力に牽引するリーダーシップホルダー」として、その活動は高く評価される」と公益財団法人日本医療機能評価機構からも高く評価されている（病院機能評価データベース平成27年度（平成29年3月）取載）。

※行が足りない場合は適時、行を挿やしてください。複数枚になっても結構です。

五条山病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合、施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえ「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？

定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- 当該領域について対応しているか? はい
- 当該領域について対応しているか? はい
- 小児入院医療管理料の算定 していない
- 新生児特定集中治療室管理料の算定 していない
- 小児科病院二次輸送体制への参加(再掲) 参加している
- 小児科病院二次輸送体制への参加(再掲) 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能部止等)について記入してください。

⑩周産期医療

- 当該領域について対応しているか? はい
- 分娩の取扱いはいい
- ハイリスク分娩管理加算の算定 対応している
- ハイリスク分娩管理加算の算定 していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能部止等)について記入してください。

⑪災害医療

- 当該領域について対応しているか? はい
- 災害拠点病院の指定を受けているか? はい
- DMA T指定病院の指定を受けているか? はい
- EMIS(広域災害救急医療情報システム)への参加 参加している
- EMIS(広域災害救急医療情報システム)への参加 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能部止等)について記入してください。

⑫へき地医療

- 当該領域について対応しているか? はい
- へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能部止等)について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能(臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- 当該領域について対応しているか? はい
- 基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能部止等)について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- 発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい
- 新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか? (重点医療機関か?) はい
- 新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか? はい
- 平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい
- 平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか? はい
- クラスター発生時の対応方針が定められているか? はい
- クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能部止等)について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

慢性期医療機能を備えており、面倒見のいい病院であること。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。

専門的治療が必要となった場合や、急性疾患に対するスムーズな受け入れ。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにできるようご説明ください。

急性期病棟の病床を逼迫させことなく、回復期から慢性期に移行する場合の受け入れを積極的に行いたい。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

医療法人新仁会

奈良春日病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	〈H28年度〉 (a)許可病床数		〈R3年度〉 許可病床数	(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減
	高度急性期 重症 軽症	急性期 回復期		(b-a)
			186	0
		344	186	0
			186	-158
				0
				0
		344	186	-158
精神病床				0
介護医療院			152	152

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい
手術の実施	肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、生殖器、泌尿器、生殖器
化学療法の実施	対応している
放射線治療の実施	対応している
拠点病院等の指定	がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。	

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している
心疾患に対する外科手術の実施	対応している
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。	

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？	はい
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している
脳動脈クリッピング術	対応している
開頭血腫除去術	対応している
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している
血管除去術等の脳血管内手術	対応している
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	参加している
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。	

・訪問リハビリの実施（再掲）

対応している

対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

介護施設との配置医師連携をとっている。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい
- ・大腿骨骨折への対応 対応している
- ・病院群輪番制への参加 参加している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝）
- ・訪問リハビリの実施 対応している
- ・通所リハビリの実施 対応している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい
- （はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

病院敷地内に訪問看護ステーションを設置。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている

定めている

定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 している
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ

へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- ◆ 人口が減少に転じる中でさらに高齢化が進み、高齢者の急性期疾患に対応する医療機能の二一スも高まることと予測されている。高齢者や障がい者の地域での生活を支えていくための「地域完結型医療」の一翼を担い、地域の急性期医療に貢献することをめざす。
- ◆ 救急告示病院として一般急性期の患者受け入れ機能を維持する。
- ◆ 高次機能病院からの転院受け入れ及び地域の在宅医療を支える支援病院としての機能を強化する（他病院、開業医、施設との連携強化）。
- ◆ 消化器内視鏡の体制整備による消化器疾患、大腸・肛門外科、IBDの専門治療を強化する。
- ◆ 精神疾患や認知症の患者さんの身体疾患を受け入れる一般病棟機能を維持する。
- ◆ 認知症疾患医療センターの役割、物忘れ外来や診断・相談等の総合的な認知症医療の強化をはかる。
- ◆ 健診・がん検診とフォローアップによる全身管理、早期発見・早期治療の取り組みを強化する。
- ◆ 疾患を問わない地域緩和ケアの展開（終末期の患者さんの在宅治療や入院加療、ご家族を支えるケアとサポート）
- ◆ アルコール依存症医療の専門拠点病院として通院・入院の治療体制を強化する。
- ◆ 差額室料を徴収しない方針に加え、2009年から開始した「無料低額診療事業」を引き続き推進し、経済的に困難されている方の医療を受ける権利保障に尽力する。
- ◆ 上記を推進するための専門医の養成と「外来～病棟～在宅～看取り」まで対応し、「どこからかただを診る」ことができる、地域医療のスペシャリスト「総合診療医・総合内科医」を養成する研修病院としての機能をめざす。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかにしてください。

- ◆ 当院の一般病棟機能として、今後とも増えていく高齢者の急性期疾患等に対応できよう。現在の診療科（「総合内科」「外科」「大腸・肛門外科」「眼科」）は、今後も維持・継続していく。「ここでも身体も診る病院」として認知症や精神疾患の身体合併患者にも対応していく。
- ◆ 脳卒中や急性冠症候群等の高度急性期や当院では対応できない重症患者さんについては、引き続き、機能を有する高次機能・急性期病院を紹介していく。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかにしてください。

- ◆ 心血管疾患については、近隣の急性期病院と連携し、医師を派遣いただいたり専門外来を開設しており、夜間・休日を含めた急性期疾患患者の受け入れに協力いただいている。
- ◆ 大腿骨頭骨折等については奈良市と生駒市の整形外科の専門病院と連携し、当院では対応できない入院・手術にご協力いただいている。
- ◆ 当院では対応できないその他の疾患領域においても、協力・支援いただけたら医療機関を広げて連携を強化していく。
- ◆ 奈良市医師会や拠点病院が中心となる連携の会議やシステム等にも積極的に参加していく。

社会医療法人平和会

吉田病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	<H28年度>		<R3年度>		(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) (H28年度からの増減)
	(a)許可病床数	計可病床数	許可病床数	最大使用病床数		
高度急性期						0
急性期			92	86	92	92
軽症		99				-99
回復期						0
慢性期			7	7	7	7
休養中 (今後再開する予定)						0
休養中 (今後休止する予定)						0
(合計)		99	-99	93	99	0

精神病床	213	213	208
介護医療院			0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を取扱った時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 手術の実施 肺、呼吸器 消化器 乳腺 泌尿器、生殖器
 - 化学療法の実施 対応している 対応していない
 - 放射線治療の実施 対応している 対応していない
 - 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院 奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
当院では30年前より健康診断及び「がん検診」を重視して早期発見・早期治療に取り組んできた。(年間の実績は大腸がん検診1800件、胃がんリスク検診850件、乳がん検診700件、子宮がん検診670件)。
消化器領域での機能強化をめざして2018年5月に「消化器内視鏡・IBDセンター」を開設。検診からの精査、定期検診も含めて上部内視鏡は年間3100件、下部内視鏡は年間950件を実施。当院で可能な症例は治療をおこない、対応できない症例は専門の医療機関へ紹介していく。
「地域緩和ケア」として、がんのターミナルの方の在宅での治療も支えていく。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
 - 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
一次から二次の心血管疾患に対応し、当院では対応できない症例は高次機能病院へ紹介。心不全や心血管疾患について内科的治療が可能な一次から入院までを対応していく。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
 - 脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
 - 開頭血腫除去術 対応している 対応していない
 - 脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応している 対応していない
 - 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
 - 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
 - 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

脳卒中の早期の急性期治療は対応できない為、高次機能病院へ紹介する。
急性期治療を終えた患者の転院は積極的に行われてリハビリを実施していく。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

二次救急病院として認知症や精神疾患なども含めた急性期疾患の一般救急受け入れを強化していく。
精神科についても引き続き奈良県全域での救急輪番に参画して役割を担っていく。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=床) 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

急性期治療を終えた患者や慢性期の疾患・症状に対応する脳血管リハ、呼吸器リハ、周術期リハ、がんリハ等を引き続き実施していく。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

訪問診療に対応しているのは精神科のみ。
高齢者、難病、がん等の在宅医療については法人内の診療所、居宅支援事業所、訪問看護、訪問介護と連携し、24時間管理の在宅患者の急性期疾患に対応する支援病院として入院受け入れや臨時往診等を行っている。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- (はいの場合 施設名称:)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

法人内の訪問看護事業所は奈良市内に3つのステーション(別に精神科1ステーション)があり、24時間対応をおこなない、急変時には入院受け入れや臨時往診(死亡確認も含めて)に対応している。
(一般科)「ほおずき」、「ほほえみサポート」、「ひだまり」(精神科)「道」

⑧ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」「適切な看取りに対する指針」を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

2013年4月に専門の医師や看護師を中心に疾患を問わない「地域緩和ケアサポートさずな」を立ち上げて、ターミナルの方へのケアやサポートに取り組みとともに、院内での学習・研修会や県やその他の外部からの講師派遣要請にも積極的に対応をしている。

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加(再掲) 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

この領域への対応は予定も含めてなし。

⑩新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

昨年2月から院内に対策会議を立ち上げ、時々の知見に基づいて様々な対策や取り組みをすすめてきた。昨年夏に院内感染（クラスター）を経験したが、その教訓により職員の感染対策に対する意識向上や COVID-19 を「正しく恐れて対応する」姿勢が得られた。昨年7月より、行政からの要請等も前向きに受け止めて COVID-19 への対応をすすめる方針を決定し、9月下旬からは奈良県の「発熱外来認定医療機関」の認定を受け、11月からは一般病棟において疑似症患者の入院受け入れを開始、今年1月からはPCR検査装置も導入して「帰国者・接触者外来」も開始して、地域において一定の役割を担ってきた。さらなるステップとして、疑似症病棟を陽性者病棟に転換することを決定し、11月22日より運用を開始した。

⑪周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

この領域への対応は予定も含めてなし。

⑫災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMITS（広域災害救急医療情報システム）への参加・参加している・参加していない 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院のBCPにおいて、強化・改善が必要な対応策について整備をすすめていく。災害時において当院が果たせる役割についてさらに検討をすすめていく。

⑬へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

この領域への対応は予定も含めてなし。

⑭医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

初期臨床研修としては制度発足時から「協力型病院」として5つの基幹病院と連携し、年間25名程度の臨床研修医師を受け入れている。新専門医制度の医師研修では精神科基幹PGを取得しており、毎年数名の専攻医受け入れを行い、連携施設への研修出向等も実施する見通し。内科および総合診療では基幹PGを持つ病院の連携施設として当院の特徴ある研修PGを準備し、奈良県内外から専攻医を受け入れる予定である。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

奈良市北西部及び京都府南部地域において、高度急性期から比較的重症度の高い急性期の医療を中心に担うために、一般急性期病床を中心とした「断らない病院」としての機能強化を今後も図っていきます。その役割を果たす支えとして、高度急性期医療を担うハイケアユニット病床、急性期病棟との連携がメリットを発揮する比較的高い医療を必要とする患者を中心とした回復期リハビリテーション病棟、関連機能として人間ドックセンター、訪問看護ステーションを今後も運営していきます。また近年増加傾向にある救急についても受け入れ態勢を今後強化していきます。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

奈良市北西部において「断らない病院」として急性期医療（高度及び重症急性期）をコアとして提供する役割を担っていく一方で、地域包括ケアや慢性期病床について近隣医療機関との連携のもとで院内外のニーズに対応しており、現在のところ新設する予定はありません。また急性期機能のバックアップを必要としない軽度の回復期リハビリテーション対象ケースについては、他院へのご紹介を近年進めております。当院ではこの数年、診療機能の選択と集中の検討を続けており、既に眼科、形成外科等については縮小し、近隣医療機関に紹介しております。検討して参りました大型の放射線治療装置の導入についても、地域の病院間の役割分担の観点からも当面見合わせることを考えております。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

病院間での病棟機能や診療科の組み替えの可能性も含めた近隣病院との機能分担について、地域住民並びに相互の病院にメリットが見出すことができるようでしたら、積極的に話し合いに参加したいと考えております。また奈良市北部の軽症急性期や地域包括ケア病床の利用については、相互補完の観点から、是非とも日頃から情報交換を伴った密度の高い連携を行っていきたいと考えております。

令和3年11月作成

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数夜になっても結構です。

医療法人 新生会
総合病院 高の原中央病院
地域医療構想における
具体的対応方針

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b) 将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
	(a) 許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数		
一般病床	8	5	8	5	8	0
急性期	191	185	191	185	191	0
重症 軽症						
回復期	50	50	50	50	50	0
慢性期						
休養中 (今後再開する予定)						
休養中 (今後廃止する予定)						
(合計)	249	240	249	240	249	0

精神病床						
介護医療院						

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数記載になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか？
- | | | |
|----------|-------------------------------------|---------|
| 手術の実施 | はい | いいえ |
| 化学療法の実施 | 消化器 | 泌尿器、生殖器 |
| 放射線治療の実施 | 肺 | 対応している |
| 拠点病院等の指定 | 対応している | 対応していない |
| | がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院 | |

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

専門性を持って当たれる診療科領域について対応しております。現時点では大きな変更は考えておりません。大型の放射線治療機器については当面導入を見合わせ、医療機関との連携を行ってまいります。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか？
- | | | |
|----------------------------|--------|---------|
| 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 | はい | いいえ |
| 心疾患に対する外科手術の実施 | 対応している | 対応していない |
| | 対応している | 対応していない |

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

心臓血管外科、循環器内科専門医による当直体制を敷いて24時間365日の対応を行っております。今後も機能充実に努めていきます。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか？
- | | | |
|--------------------------|--------|---------|
| 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 | はい | いいえ |
| 脳動脈クリッピング術 | 対応している | 対応していない |
| 開頭血腫除去術 | 対応している | 対応していない |
| 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 | 対応している | 対応していない |
| 血栓除去術等の脳血管内手術 | 対応している | 対応していない |
| 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 | 対応している | 対応していない |
| 奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 | 参加している | 参加していない |

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

脳神経外科領域の手術対応は現在行っておりません。脳神経内科や回復期リハビリテーション機能がありますので、現在は他院からの術後受け入れを積極的に行っています。現在のところ、この方向性で今後も対応していく予定です。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・救急告示病院の指定を受けているか？
- ・大腿骨骨折への対応
- ・病院群輪番制への参加
- ・小児科病院二次輪番体制への参加

はい
はい
対応している
参加している
参加している

いいえ
いいえ
対応していない
参加していない
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

地域の救急医療に対するニーズ増加に対応するため、当直医師を2名体制から3名体制へと増員しました。また、救急救命士の採用や看護配置の充実も積極的に行っており、救急対応力強化の取組みにより救急応需率も向上してきています。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無
- ・訪問リハビリの実施
- ・通所リハビリの実施

はい
対応している
有り
対応している
対応している

いいえ
対応していない
無し
対応していない
対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

急性期の患者さんが円滑に在宅へと帰るために、回復期リハビリテーション病棟への転棟を行っています。また、急性期病棟のバックアップがあることから、周りの医療機関（回復期リハビリテーション病院）からも、比較的风险の高い回復期リハビリの患者さんを受けています。一方で低リスクの患者さんについては、他病院の回復期リハビリテーションへのご紹介も行っております。各療法の積極的な採用を行い、365日リハビリを実施しております。訪問リハビリについては、法人内に併設する「訪問看護ステーション あさがお」にて対応しております。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？
- ・在宅療養支援病院の届出の有無
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無
- ・訪問リハビリの実施（再掲）

はい
有り
有り
対応している

いいえ
無し
無し
対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

法人内に併設する「訪問看護ステーション あさがお」において、地域の在宅医療を行っているクリニック等と連携しています。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？
- （はいの場合 施設名称：訪問看護ステーション あさがお）

はい
はい
いいえ
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

訪問看護については、法人内に併設する「訪問看護ステーション あさがお」にて対応しております。あさがおのスタッフについては、院内職員から配置しております。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？

定めている
定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在検討中です。

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・小児入院医療管理料の算定
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）

はい
している
している
参加している

いいえ
していない
していない
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

小児医療については対応しておりません。

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・分娩の取扱
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定

はい
対応している
している

いいえ
対応していない
していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

周産期医療については、現在、対応しておりません。

⑩災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

災害拠点病院としての機能を有しております。

⑪へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

へき地医療は行っておりません。

⑫医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

現在は基幹型臨床研修病院（奈良医大、奈良県立総合医療センター）の協力病院として、医師の研修に協力しております。

今後は医師の働き方改革も考慮しながら、研修機能についても検討していきます。

⑬新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

新型コロナウイルス感染症の疑似患者受入協力医療機関として、現在、合計11床の疑似症状病床を保有し、疑似症患者の受け入れ対応を行っております。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について高度急性期から急性期、回復期、慢性期の全ての病床機能を揃え、又、同法人内の介護施設(介護老人保健施設、有料老人ホーム、グループホーム)、在宅施設(サ高住)、在宅医療(訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ)と連携を行い、『面倒見のいい総合医療施設』を運営する。

介護医療院も開設予定であり、医療法人康仁会内で地域包括ケアシステムが強固なものとなる。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができなくなるかぎり明らかになるようご説明ください。

超急性期の対応と、全ての診療科を揃えることは難しい。
機能を絞った急性期医療を行いつつ、回復期、慢性期も行っていく。
県下最大級の透析医療施設の更なる充実を目指す。
PET(4台)を所有し、総合健診の更なる充実を目指す。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようご説明ください。

近隣にある、奈良県総合医療センターとの連携を図り、患者支援センターを通じ、患者さんの受け入れをスムーズに行えるよう情報交換を行っていく。
又、地域の診療所とも連携を図り入院患者の受け入れを行う。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

医療法人康仁会 西の京病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		<R7(2025年度)>		<(b-a)>	
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	最大使用病床数	(b)将来	(b-a)	H28年度からの増減	
一般病床	高度急性期	3	4	4	4	1		
	急性期	145	144	144	144	-1		
療養病床	軽症					0		
	回復期	50	50	50	50	0		
療養病床	慢性期	50	50	50	50	0		
	休養中 (今後再開する予定)					0		
	休養中 (今後廃止する予定)					0		
	(合計)	248	248	248	248	0		
精神病床		0	0	0	0	0		
介護医療院		0	0	0	48	48		

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？
 手術の実施 肺、呼吸器 乳腺 泌尿器、生殖器 消化器 泌尿器、生殖器
 化学療法の実施 対応している 対応していない
 放射線治療の実施 対応している 対応していない
 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 放射線治療の実施はハイパーサーミアのみ

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？
 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？
 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
 脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
 開頭血腫除去術 対応している 対応していない
 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- 病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑤ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
- 在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
- 訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

③ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- 訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- 通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 している
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加(再掲) 参加している

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

いいえ
していない
していない
参加していない

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・分娩の取扱い 対応している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

いいえ
対応していない
していない

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい
- ・EMIS(広域災害救急医療情報システム)への参加 参加している

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

いいえ
いいえ
いいえ
参加していない

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

いいえ
いいえ

⑬医師の研修・派遣機能 (臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

いいえ
いいえ

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？ (重点医療機関か) はい

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

いいえ
いいえ

- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

いいえ
いいえ
いいえ
いいえ
いいえ

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

一般病床 60 床のうち、24 床は地域包括ケア病床として運用。在宅復帰や患者様の QOL を向上に努めています。

また、残り 36 床の一般病床は、施設や在宅療養中の高齢者の急変時対応として軽症急性期病床に特化し、救急病院（二次救急告示病院）として役割、急性期病院における後方連携としての役割、地域完結型医療をめざし慢性期病院として支える地域医療を維持していき、病床稼働率を上昇していきたい。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときはあらかじめご説明ください。

軽症急性期状態の患者様を 24 時間受け入れる救急病院でありたい。
急性期の外科・循環器・がん診断等は、当院では担えない。
骨折は当院でも対応している。

(3) (2) を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

医療法人宝山会奈良小南病院

地域医療構想における

具体的対応方針

令和 3 年 1 1 月作成

地域の基幹病院・在宅医療・施設・事業所等と連携し、回復期・慢性期の医療を要する患者様に対して、すみやかな対応と在宅支援。

また、确实に入院患者様の受入れを確保するため、慢性期病院としてのアビールや広報活動として病棟連携等の強化、他の施設への訪問など推進している。

具体的には、訪問看護ステーションから入院依頼とか、ショートステイの利用の困難な方、それらに携わる介護者の休息のための入院、レスパイト入院の促進、介護施設の予定者の待機などを受け入れます。

また、当院敷地内の介護老人保健施設や有料老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、併設介護老人保健施設などの入所を、内外含めて拡大していくきたい。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。欄数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1～2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

機能	<H28年度> (a)許可病床数		<R3年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減		
	高度急性期	重症 急性期	回復期	慢性期 休養中 (今後再開する予定)	慢性期 休養中 (今後閉止する予定)	最大使用病床数	
一般病床			60	60			0
療養病床			117	117	117	117	0
療養病床							0
療養病床							0
療養病床							0
(合計)			177	177	177	177	0

精神病床								0
介護医療院								0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1～R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～⑨の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・手術の実施 はい いいえ
- ・化学療法の実施 はい いいえ
- ・放射線治療の実施 はい いいえ
- ・拠点病院等の指定 はい いいえ

がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 はい いいえ
- ・心疾患に対する外科手術の実施 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 はい いいえ
- ・脳動脈クリッピング術 はい いいえ
- ・開頭血腫除去術 はい いいえ
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 はい いいえ
- ・血栓除去術等の脳血管内手術 はい いいえ
- ・脳血管疾患等への早期リハビリの実施 はい いいえ
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨折への対応 はい いいえ
- ・病院群輪番制への参加 はい いいえ
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ はい いいえ
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 はい いいえ
- ・訪問リハビリの実施 はい いいえ
- ・通所リハビリの実施 はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - 在宅療養支援病院の届出の有無 あり 無し
 - 在宅療養後方支援病院の届出の有無 あり 無し
 - 訪問リハビリの実施(再掲) 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑦訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- (はいの場合 施設名称:)

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑨小児医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 小児入院医療管理料の算定 している していない
- 新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- 小児科病院二次輸送体制への参加(再掲) 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑩周産期医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 分娩の取扱 対応している 対応していない
- ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑪災害医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- DMA T指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- E.M.I.S(広域災害救急医療情報システム)への参加 参加している 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について急性期疾患としては、消化器科(内科・外科)、整形外科、泌尿器科の疾患を主軸とし、「救急」「慢性透析」「緩和ケア」「予防医学」「予防医学」についての体制を整えるとともに、在宅療養支援病院として、法人の在宅介護部門、介護老人保健施設等の介護機能を最大限に生かしたケアミックス型の病棟の体制を維持、発展させる。

<重症急性期機能>

●消化器科(内科・外科)

- 消化器内視鏡を中心とした内視鏡検査、内視鏡治療、外科手術を実施
- 消化器内視鏡に関しては、奈良県総合医療センターと比較しても医師の技術としては同等、機能的にも準ずる機能を有しており、奈良県総合医療センターと連携を取りながら治療を実施
- 消化器外科手術、食道、肝胆膵などの悪性疾患については高度な機能を持つ高度急性期病院への紹介を行う。一般急性期病院機能及び面倒見のよい病院として積極的に外科的疾患を受け入れる。

●整形外科

- 整形外科疾患は、慢性疾患・急性疾患ともに奈良県内では、それぞれの専門性により役割分担が出来ており、連携を取りながら診療を行っている。当院においても、専門性を生かした診療を行い、継続的に専門機能の充実を図る。また、人工関節センターの開設に伴い、対象疾患の受け入れを積極的にを行い、手術症例の件数増加を図る。

●泌尿器科

- 泌尿器科疾患は、良性疾患・経尿道的内視鏡治療を中心とした診療を行い、「面倒見の良い病院」として、急病に対応出来る体制維持、充実を図る。悪性腫瘍、特に内視鏡手術の適応となる疾患については高度急性期病院へ紹介を勤める。

社会医療法人松本快生会

西奈良中央病院

地域医療構想における

具体的対応方針

<回復期機能>

- 平成29年10月に急性期病棟48床を地域包括ケア病棟に転換し、緩和ケア病棟24床と併せて、72床の回復期病棟を保持している。
地域包括病棟(48床)
ポストアキユート・サブアキユートの疾患を積極的に受け入れ、さらに在宅療養支援病院として、24時間体制の訪問診療体制をとり、軽症急性期・レスパイト入院を積極的に受け入れる。
 - ・地域包括ケア病棟(48床)
高次病院からのポストアキユートの受け入れ(令和2年度)は延患者数481人
緩和ケア病棟(24床)癌終末期の患者に対するホスピス入院とともに、在宅緩和ケアの後方支援として症状緩和のための短期入院、レスパイト入院を受け入れられる複合型の緩和ケア病棟の体制をとっている。

<血液透析>

- 維持透析としての血液透析のみでなく、血液濾過透析を行い、さらに腹水濾過濃縮再静注法も行っている。

<予防医学>

- 健康管理センターを中心に、人間ドック・健診施設機能評価認定を受けており、きめ細やかな生活指導、サービスの提供を通じて、地域の方々の健康維持に努める。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において真院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。

- ・救急告示病院として重症・急性期疾患の患者の受入を積極的に行う。
・急性期を脱した患者の在宅での療養(訪問診療・往診等)を担う。在宅療養支援病院
- ・県が示した急性期指標に基づき、2病棟は内科・外科・整形・泌尿器等を中心とした重症急性期疾患を積極的に受入れる。また地域包括ケア病棟においては、高度急性期からの受け入れ並びに在宅・自院からの軽症急性期・回復期疾患の受け入れを行う。
- ・がん緩和ケア。

(当院が担わない役割・機能)

1. 心臓カテーテル治療
2. 放射線治療

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

(主な連携)

- 医療安全対策地域連携加算
- 相互評価連携保険医療機関(高の原中央病院)
- 連携保険医療機関(奈良セントラル病院)
- 感染防止対策地域連携加算
- 相互評価連携保険医療機関(奈良県総合医療センター・生駒市立病院・沢井病院)
- がん治療連携指導料
- 計画策定病院(奈良県総合医療センター・近畿大学医学部奈良病院)
- 地域連携バス
- 頸部骨折連携バス(東生駒病院・登美が丘リハビリテーション病院・奈良セントラル病院・わかざ電問病院)
- 脳卒中地域連携バス(各病院)

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数故になっても結構です

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえ具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		<R7/2025年度>		<(b-a)>	
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	(R7/2025年度)	(b-a)	(R7/2025年度)	(b-a)
一般病床	高度急性期							
	急性期	94	94	94	94	94	0	0
療養病床	回復期	72	72	72	72	72	-72	0
	慢性期							
療養病床	休養中 (今後再開する予定)							
	休養中 (今後廃止する予定)							
	(合計)	166	166	166	166	166	0	0
精神病床								
介護医療院								

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は逆時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？

手術の実施 肺、呼吸器 消化器 泌尿器 生殖器

化学療法の実施 対応している 対応していない

放射線治療の実施 対応している 対応していない

拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

現状維持

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？ はい

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない

心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

現状維持

③脳卒中

- ・当該領域について対応しているか？
- ・脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施
- ・脳動脈クリッピング術
- ・開頭血腫除去術
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応
- ・血栓除去術等の脳血管内手術
- ・脳血管狭窄等への早期リハビリの実施
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加

いいえ
 対応していない
 対応している
 対応している
 対応している
 対応している
 対応している
 対応している
 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能向上等）について記入してください。

現状維持

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・救急告示病院の指定を受けているか？
- ・大腿骨骨折への対応
- ・病院群輪番制への参加
- ・小児科病院二次輪番体制への参加

いいえ
 対応していない
 参加している
 参加している
 参加している
 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能向上等）について記入してください。

現状通り積極的な受入れ実施

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無
- ・訪問リハビリの実施
- ・通所リハビリの実施

はい
 対応している
 有り（病床数＝）
 対応している
 対応している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能向上等）について記入してください。

現状維持

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？
- ・在宅療養支援病院の届出の有無
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無
- ・訪問リハビリの実施（再掲）

いいえ
 無し
 無し
 対応している
 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能向上等）について記入してください。

現状通り積極的な受入れ実施

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

はい
 はい
 はい
 なでこ・さわやか

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能向上等）について記入してください。

在宅医療との連携で積極的な受入れ実施

⑧ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？

定めている 定めていない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

現状、緩和ケア病棟・地域包括病棟において実施しているが、全病棟で実施予定

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・小児入院医療管理料の算定
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定
- ・小児科病院二次輸送体制への参加 (再掲)

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・分娩の取扱い
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？
- ・EMIS (広域災害救急医療情報システム) への参加

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

現在、BCP作成に取り組んでいる。

⑫ へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

⑬ 医師の研修・派遣機能 (臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか？
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。

現在、協力型臨床研修病院の指定を受けている。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携（総合・連携、機能補完、機能強化等））について記入してください。

現状維持

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について同一医療圏内の中核的な急性期病院と連携し、ポストアcute患者のリハビリテーションと在宅復帰支援を行い、在宅療養への橋渡しを行っています。
 当法人の病院・診療所では継続的に在宅医療に力を入れており、地域包括ケアシステム構築に欠かせない事業として今後も拡大を目指す方針です。これらの患者を含む地域の軽症～中等症急性期患者への入院医療を提供しており、透折部門も高齢で合併症が多く生活機能の低下した患者を多く受け入れられています。このような病院内ポジションニングを明確化した上で地域包括ケア病棟を当院の入院機能の中核と位置づけ、地域包括ケア病床71床、回復期リハビリテーション病棟50床、一般病床(10対1)29床の合計150床で運用しています。超高齢社会のニーズに合わせて医療と介護の融合を実現し、地域の日常的外来・入院診療、リハビリテーション、在宅療養、高度急性期病院との連携を担う「面倒見の良い病院」として貢献する当院のビジョンに変更はありません。

具体的な対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができらぬかぎり明らかになるようご説明ください。
 重症急性期・高度急性期医療を担う方針はもっていません。

また、各科専門領域が担うべき高度専門医療を展開する方針も持っていません。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

高度急性期病院等から紹介転院される患者の入院前訪問や当院退院後の施設や在宅への退院前訪問をおこなっていることに加え、院内併設の在宅医療センターを中心に、医療・介護の各事業所と連携を取っています。介護施設職員と合同で在宅医療・介護の勉強会を実施し、在宅復帰を支えています。また、当院から訪問看護を担える体制づくりに努めています。

高度急性期医療機関から医師を派遣頂いて、専門外来を開設するなど高度急性期医療機関との顔の見える関係強化を模索したいと考えます。医師同士の関係はもとより、当院が担っている医療内容を理解していただくことで、より連携が強化できると考えます。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R3年度> 許可病床数		最大使用病床数
	高度急性期 急性期 重症 軽症	回復期 慢性期 休養中 (今後再開する予定) 休養中 (今後閉止する予定)	50	100	
			150	150	150
精神病床 介護医療院					0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
50	0
100	0
	0
	0
150	0
	0
	0

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？

はい	いいえ
手術の実施	泌尿器、生殖器
化学療法の実施	肺、呼吸器
放射線治療の実施	消化器
拠点病院等の指定	乳腺
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。	泌尿器、生殖器

がん診療連携拠点病院-地域がん診療病院-奈良県地域がん診療連携支援病院
前立腺癌に対する、内分泌療法や膀胱癌に対する、抗癌剤化学療法は実施している。経尿道的膀胱腫瘍切除術を適宜施行している。術後、進行性膀胱癌と判明している場合には地域の基幹病院などに根治的手術や放射線治療目的に紹介連携している。がんの終末期となり、緩和ケアの必要な患者様、BSCに移行された患者様、看取りの患者様を積極的に受け入れている。
また、病院と在宅センターと連携し、終末期であっても住み慣れた自宅で過ごしたいと希望される患者様を受け入れている。
今後も積極的に受け入れていきたい。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？

はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
現在対応していない。
今後も、対応の予定はなく、急性期医療機関ならびに専門医療機関との連携を行っていく。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？

はい	いいえ
脳卒中に対するtPAによる脳血栓溶解療法の実施	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応していない
開頭血腫除去術	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応していない
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	参加している
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。	参加していない

現在の各種治療等への対応は行っておりません。

奈良県脳卒中連携パスに参加し、脳血管疾患等へのリハビリを実施している。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
奈良市二次輪番制へ参加しており、現状の体制を維持する予定である。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数=50床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
理学療法士40名、作業療法士10名、言語聴覚士6名、歯科衛生士1名が在籍し、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟で早期リハビリの実施を行っている。

また、訪問リハビリテーションも実施しており、在宅復帰された患者様への継続的介入もおこなっており、在宅生活のサポートも行っている。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

在宅医療センターを有し、約200名の在宅患者さんを管理している。
在宅療養支援病棟を届出。36.5日24時間対応をしている。
住み慣れた地域・家で生活をサポートし、急変等における入院加療の対応に加え、在宅での看取りの患者様も受け入れ、看取りに関わる家族へのサポートもしている。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：訪問看護ステーションぬくもりポート）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

在宅医療センターが管理する在宅患者さんの急変時の対応などを含め、訪問看護への対応を行っている。
定期的な訪問看護については、同一法人の訪問ステーション等による訪問看護を提供している。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
2019年より、厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」を策定。
厚生労働省主催による「本人の意向を尊重した意思決定支援研修」に多職種チームで参加。多職種が関わり、院内でのACPをふまえた意思決定支援に取り組みを強化し、進めている。

⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
現在対応していない。
今後対応する予定はありません。

⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
現在対応していない。
今後対応する予定はありません。

⑪ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

災害拠点病院ではないが、災害時を想定し定期的に訓練を実施している。
EMISにも参加している。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
現在対応していない。
今後も対応する予定はありません。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
基幹型臨床研修病院ではありませんが、協力型として初期研修医の地域医療研修を担っている。

今後とも地域の中小規模病院として、地域医療を学び実践する場を研修医へ提供していく。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れられているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れられているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

コロナ禍において、上記対応について整備を行っている。
コロナ陽性患者への入院医療は提供出来ないが、重点医療機関等からコロナ罹後の患者の転院を積極的に受け入れ、重点医療機関等のコロナ対応ベッドの確保等に貢献出来ている。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

東大寺福祉療育病院は東大寺が昭和30年、聖武天皇1200御遠忌記念事業として東大寺福祉事業団東大寺整肢園を開院し、平成20年東大寺福祉療育病院と改称した。今日では、在宅、入所を問わず、肢体不自由から高度医療を要する最重度重複障害まで幅広い医療と療育を提供し、奈良市、奈良県下の障害児・者医療の中心的役割を担っている。

全国各地で重症心身障害児者施設の開設が整備されていく中で、奈良県においても障害の程度が重症化し、呼吸や循環及び消化器疾患を合併した超重症児の増加や低年齢化による障害児者が在宅や高度医療機関 NICU において増加している。当院においても開設以来、低年齢の超重症児の受け入れを積極的にを行い、NICU から直接受け入れる症例や、ICU 入院後に自宅に帰らずそのまま受け入れる症例も増加しています。

現在では県外からも入院依頼が絶えず、超重症児が入園可能な数少ない病院機能を持った福祉施設として広く認知されています。

在宅における医療的ケア児が増える中で、緊急時のレスパイト（短期入所）入院の受け入れ、人工呼吸器など高度医療を必要とする児のレスパイト入院は県内では事実上当院のみで受け入れているのが現状です。

在宅の重症心身障害児者の通園施設も併設して未就学児の児童発達支援センターや、放課後等デイサービス事業、生活介護事業で日中活動の場を提供している。また障害を持つ子どもたちの相談支援事業を実施し地域の支援体制の中で役割を果たしています。

このように東大寺福祉療育病院は重症心身障害児者に対し、専門医、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、言語療法士、音楽療法士、公認心理士、臨床工学技士、保育士、社会福祉士、管理栄養士、薬剤師等の多職種で日中、夜間の支援を行っています。

東大寺福祉療育病院は、近畿厚生局、奈良県福祉医療部、奈良市福祉部・こども未来部・健康医療部、奈良県医師会等との連携のもと業務を遂行しています。

東大寺福祉療育病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1～2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R3年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	高度急性期	許容病床数	許容病床数	最大使用病床数		
急性期	重症 軽症					0
回復期						0
慢性期		106	106	78	106	0
休養中 (今後再開する予定)						0
休養中 (今後廃止する予定)		29	29		29	0
(合計)		135	135	78	135	0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1～R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかなようにご説明ください。

近年は高度な医療的ケアが求められるようになってきて、奈良県立医科大学附属病院小児科医局との連携は欠かせません。また、院内における他科の処置も必要となり、非常勤で、整形外科、眼科、耳鼻科、泌尿器科等の診療を連携しています。

外来においては、肢体不自由児をはじめ側弯外来を実施し地域医療に貢献しています。医療的ケア児が増える中で、緊急時のレスパイト入院、高度医療を必要とする児のレスパイト入院を高めていく。

奈良県重症心身障害児者支援センター事業の一環として医療的ケア児等の人材育成の受け入れ機関としても担っている。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

在宅の重症心身障害児者の通園施設も併設して未就学児の児童発達支援センターや、放課後等デイサービス事業、生活介護事業、相談支援事業を実施して他の施設や医療機関への案内を担っている。

また、奈良県福祉医療部より奈良県重症心身障害児者支援センター運営事業を受託しており、重症心身障害児者、医療的ケア児等とその家族が、身近な地域において心身の状況に応じた適切な保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援を受けられるよう、専門相談員を配置し、広域的・専門的な相談支援や各関係機関との連携、調整を行っています。

※行が足りない場合は連時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数故になっても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・手術の実施 肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、生殖器 対応している 対応していない
- ・化学療法の実施 対応している 対応していない
- ・放射線治療の実施 対応している 対応していない
- ・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
- ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- ・脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- ・開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
- ・血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 在宅療養支援病棟の有無 あり 無し
- 在宅療養後方支援病棟の届出の有無 あり 無し
- 訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

今後届出予定

⑦訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

今後開設予定

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

今後定める予定

⑨小児医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 小児入院医療管理料の算定 している していない
- 新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 分娩の取扱 対応している 対応していない
- ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- DMA T指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

医療的ケア児等は災害発生時の電源確保、医療材料の確保等特別の配慮を必要とするため、在宅等の重症心身障害児者の災害支援拠点病院として避難所を準備する。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか?（重点医療機関か?）
はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか? はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

在宅における重症心身障害児者を介護している家族が陽性者若しくは濃厚接触者に該当した場合に介護できないことが生じ、家族が重症心身障害児者を介護できない場合に、重症心身障害児者を預かることとしている。（現在まで実績はない）

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

地域に根差した病院として、一般急性期医療・地域包括ケア病床・神経難病（一般病棟障害者施設）等まで幅広い医療を行う。

- ・ 地域で発生する重症、軽症の救急患者の受け入れ
- ・ 地域住民からの要望もあり、従来の整形外科外傷手術に加え、変形性膝関節症、股関節症の手術対応を本格稼働
- ・ 地域医療機関と密接な連携
- ・ 重症心身障害児者の医療型短期入所・短期レスパイト入院
- ・ 入院から在宅までの一貫したリハビリテーション
- ・ 地域医療の充実の為、訪問診療の強化、地域包括ケア病床の増床を行います。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は細小する役割、機能ができるときは明らかなように説明ください。

一般的な地域急性期治療は幅広く行い、専門的な急性期治療は高度医療機関へ病病連携で役割分担を行う。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

急性期と回復期の病病連携

- ・ 各老人施設との連携
- ・ 奈良市と重症心身障害児者の医療型短期入所サービス
- ・ 短期レスパイト入院
- ・ 病診連携における在宅医療

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

奈良西部病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		(b) 将来	
	(a) 許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	(R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
一般病床・療養病床	高度急性期					0
	急性期					0
	重症	59	59			0
	軽症					0
	回復期					0
療養病床	慢性期		58	58		0
	休養中					0
	(今後再開する予定)					0
病床	休養中					0
	(今後廃止する予定)					0
(合計)	117	117	117	117	117	0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
(注1) 最大使用病床数
・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？

手術の実施	肺、呼吸器	はい	いいえ
化学療法の実施	消化器	対応している	泌尿器、生殖器
放射線治療の実施	対応していない	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	対応している	対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

消化器がんの手術は対応しますが、その他のがんに関しては近隣病院と連携し対応します。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	はい	いいえ
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない
	対応している	対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

緊急心臓カテーテル等の検査・治療対応は予定なし。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	はい	いいえ
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携バスへの参加	参加している	参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

亜急性期の治療および超急性期後のリハビリを積極的に行います。
※ 回復期リハビリ病棟では対応できない基礎疾患がある患者の受入れ

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病棟の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

引き続き救急対応出来る医師の当直日を増加して内科、整形外科、外科を中心とした地域の2次救急を積極的に受け入れことにより、3次救急病棟の負担を減らし地域医療の質を高めます。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

地域包括ケア病床の増床を行い、他院からのリハビリ患者の受入れを行う。
基幹病院での入院リハビリ後、外来リハビリを当院で継続する。
訪問リハビリの強化。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

在宅診療部門を立ち上げ、令和3年4月より在宅療養支援病棟の指定を受けました。病院近隣を中心に今後も拡大していきます。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

引き続き、近隣の訪問看護ステーションと連携強化をしていきます。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

患者様の意思決定に基づいて、治療を行います。

⑩小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

- ・救急車を含めた外傷外科のみ対応予定。

⑪周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

- ・対応予定なし。

⑫災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

地域の急性期病院として中等症、軽症患者を中心に対応させていただきます。

⑬へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ

・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

- はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

- ・予定なし。

⑭医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

引き続き奈良県総合医療センターの臨床研修協力施設として、地域医療、在宅医療を担当します。

⑮新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ

- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能廃止等）について記入してください。

障害者施設一般病棟に人工呼吸器管理の患者が常時20名以上入院しているという特性があり、新型コロナウイルス感染症の入院患者の受け入れは今後とも考えていない。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について急性期を担いながら、慢性期をミックスすることで病院周辺の医院、介護施設からの入院要請に対応し、より早い在宅復帰に貢献していく。又、従来からの訪問診療も継続し、在宅医療を続けることでより包括的なケアを充実させていき、「面倒見のいい病院」を目指していく。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について
※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときは、相手がより明らかになるようご説明ください。
高度急性期相当患者は市立奈良病院を中心とした病院と連携することに対応する。入院でのかかりつけ医はいるが入院が必要になった患者の急性期、慢性期の受入れ病床としての機能を継続する。
軽快後はかかりつけ医の在宅診療に戻ることで地域内連携を行っていく。
整形分野の医師が充実しており、整形外科を担っていく。
腹部外科などの外科手術が必要な患者は当院では担えない。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできる限り明らかにするようにご説明ください。
奈良県総合医療センター、生駒市立病院、奈良医療センター、西奈良中央病院等と医療安全、感染対策での連携があり、患者の症状においてははその専門性を有する病院へ転送を行う。
特に院内連携室を院長直轄にすることで円滑な連携を実施している。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

一般財団法人 沢井病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床	高度急性期		〈H28年度〉 (a)許可病床数		〈R3年度〉 許可病床数		〈b-a〉 (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	重症	軽症						
急性期			55	55			0	0
回復期							0	0
慢性期			56	56			0	0
休養中 (今後再開する予定)							0	0
休養中 (今後廃止する予定)							0	0
(合計)			111	111			111	0
精神病床								0
介護医療院								0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を追加してください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか? いいえ

手術の実施 はい 乳腺 消化器 泌尿器、生殖器
対応している 対応していない
化学療法の実施 はい 対応している 対応していない
放射線治療の実施 はい 対応している 対応していない
拠点病院等の指定 はい がん診療連携拠点病院 地域がん診療病院 奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

終末期癌、治療拒否者、癌性疼痛治療者の対応は継続していく

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか? いいえ

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 はい 対応している 対応していない
心疾患に対する外科手術の実施 はい 対応している 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

一次救急レベルは対応し、それ以上は高次病院へ転送する。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか? いいえ

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 はい 対応している 対応していない
脳動脈クリッピング術 はい 対応している 対応していない
開頭血腫除去術 はい 対応している 対応していない
脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 はい 対応している 対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術 はい 対応している 対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施 はい 対応している 対応していない
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 はい 参加している 参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

今後も緊急手術や超急性期治療は高次病院に委任する

- ④ 救急医療
- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
 - 救急告示病院の指定を受けているか? はい いいえ
 - 大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
 - 病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
 - 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

救急医療、大腿骨骨折への対応は積極的にやっている。
 大腿骨骨折については e-match においても積極的に掲載し、幅広い受け入れを実施しており、これは病院の核の一部である為今後継続していく。
 但し、救急要請時点で明らかに高次急性期対応の症状と判断できるものについてはとりあえずの受け入れは行わず、有効な受け入れ先を案内するにとどめる。

- ⑤ リハビリ
- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
 - 脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
 - 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り (病床数=床) 無し
 - 訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
 - 通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

外来リハビリ、入院リハビリについては相当以前から行っており、地域におけるリハビリ実施病院としての実績は確立されていると考える。
 外来・入院診療もしつつ、リハビリもできる地域に根差した病院を維持する。
 拡充にあたってはセラピストの確保が重要である為、その部分についても継続的に進める。
 近所に回復期リハビリテーション病院が開業しているが、それぞれの住み分けをしていくことでの継続を図る。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
 - 在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
 - 在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
 - 訪問リハビリの実施 (再掲) 対応している 対応していない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

在宅医療に関しては相当以前から実施しており、現在も継続している。
 今後はオンライン診療を視野にいれながら、近隣の医療機関と連携していくことで継続を図る。又、訪問リハビリの実施という強みを生かすことで、近医からの依頼を拡充することで地域医療に貢献できると考える。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか? はい いいえ

(はいの場合 施設名称: 訪問看護ステーション 佐保)

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

訪問看護ステーションは相当以前から実施しており、今後も近隣の医療機関から多数の依頼を受けることで継続拡充していく。
 「面倒臭い病院」の核としての位置づけが予想される。オンライン診療などにも必ず付随して行く担当部署と考え、患者家族と病院をつなぐパイプ役として訪問看護師の人数を確保していく。

⑧ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか? 定めている 定めていない

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携、機能強化、機能廃止等) について記入してください。

包括支援センターを内包する為、その部門にて情報収集、課題提起を行ってもらう。病院部門と連携して取り組んでいく。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

この分野への方向性はゼロである。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

この分野への方向性はゼロである。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMA T指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

災害時に受け入れ可能な傷病病についての受け入れを実施するにとどまる。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

この分野への方向性はゼロである。

⑬医師の研修：派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在においては、整形外科分野のみにおいて研修病院としての機能を有する。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

コロナクラスター発生病院として、今後クラスターを発生させない様な体制を継続していき、コロナに限らず感染症に対しての防護策、意識共有を行っていく。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について奈良医療圏において、質の高い集中的なリハビリテーションを提供する病院として機能すること、主に回復期（リハビリテーション医療）として障害のある人々を身体的、心理的、社会的に、各人それぞれの最大限度にまで回復させることを目指し高い在宅復帰率、リハビリテーション分野における重症患者の改善や実績指数の担保、機能充実に図り地域医療に貢献します。

また、同県内にある医療法人せいわい会 登美ヶ丘リハビリテーション病院とともに材の交流、最新の技術と知識を積極的に導入、他医療機関、施設との連携を強め、奈良県内のリハビリテーションをけん引していきたいと考えます。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができらざり明らかになるようご説明ください。

回復期リハビリテーション病棟を通じて、急性期病院の在院日数の短縮化に貢献します。また退院後の在宅生活を見据えた身体機能の向上や住宅改修アドバイス、訪問リハビリテーションにて在宅生活での支援などを行います。

ならまちリハビリテーション病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

(3)(2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
 ※後援病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかなるようにご説明ください。

急性期病院より早期に患者受入体制構築に向けた密な連携を今後も進めてまいります。
 許可病床数108床に対して当院の地域連携部の社会福祉士を6名配置とし、スムーズな患者受け入れ、また退院時の手厚いフォローが出来るよう体制作りを強化しております。
 高い在宅復帰率実現に向け、在宅サービスを中心とした介護保険分野との密な連携も進めており、退院前訪問など居宅介護支援事業所と協力して患者の希望に沿った退院支援を提供しております。また在宅復帰困難例では、介護保険施設との連携も進めており、施設及びご家族とを繋ぐ役割も務めております。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R3年度>		<R7年度>		<R7/2025年度>		<R7/2025年度>	
	急性期	重症 経症	許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数
一般病床										
療養病床										
急性期			56	0						
重症 経症					52	108			108	-56
回復期										
慢性期										
休養中 (今後再開する予定)										
休養中 (今後廃止する予定)										
(合計)			108	108	108	109	108	108	108	0
精神病床										
介護医療院										

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

急性期医療機関からの脳卒中患者の受入は特に早期対応し、リハビリの実施に取り組んでいます。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について
 ※以下①～⑥の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※選択肢については、あてはまらない場合は適時、行を削りてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・手術の実施 肺、呼吸器 消化器 泌尿器、生殖器 対応している 対応していない
- ・化学療法の実施 対応している 対応していない
- ・放射線治療の実施 対応している 対応していない
- ・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 手術を受けられた場合、体力低下（服用症候群）として、当院では積極的にリハビリテーションによる体力回復が出来るよう対応しております。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
- ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 今後でも対応する予定はありません。

③ 脳卒中

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- ・脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- ・開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
- ・血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 今後でも対応する予定はありません。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝108床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
 理学療法士51名 作業療法士19名 言語聴覚士9名 合計79名が在籍しており、2022年度には、84名体制で早期より集中的なりハビリテーションを提供しております。

また上記以外にも口腔ケアを目的として歯科衛生士2名の配置により摂食嚥下にも力をいれております。
 各病棟の回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定しており、リハビリテーションの質と量を担保しております。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 在宅療養支援病院の届出の有無 無し 有り
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無 無し 有り
- 訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 現在訪問リハビリテーションは3名体制で対応していますが、2022年度には5名体制、その後も必要に応じて人員配置を行い、在宅での生活を支援していきます。

⑦訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ

（はいの場合 施設名称：
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 今後も対応する予定はありません。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 回復期リハビリテーション病棟ではありますが、今後「適切な医師決定支援に関する指針」を定め、入院患者を対象に説明を行っていきます。

⑨小児医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 小児入院医療管理料の算定 していない している
- 新生児特定集中治療室管理料の算定 していない している
- 小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 今後も対応する予定はありません。

⑩周産期医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 今後も対応する予定はありません。

⑪災害医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- DMA T 指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- E M I S（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 まずは自院内の状況をしっかり把握し、BCPを作成し対応していきます。また状況に応じて可能な限り外部の協力も進めたいと考えます。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
訪問リハビリテーションの対象地域であれば対応していきます。

⑬ 医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
今後も対応する予定はありません。

⑭ 新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

急性期からのコロナ後療用症候群となった患者については今後も積極的に受け入れていきます。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

二次救急告示病院として
断らない病院を目指す

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにようご説明ください。

石洲会病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度>		<R3年度>		(b) 将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
	(a) 許可病床数	許可病床数	許可病床数	最大使用病床数		
高度急性期						
急性期		59	59	31	59	0
重症 軽症						0
回復期						0
慢性期						0
休養中 (今後再開する予定)						0
休養中 (今後廃止する予定)						0
(合計)		59	58	31	59	0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針：他の医療機関との機能統合や連携、機能拡小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 手術の実施 乳癌 泌尿器、生殖器
- 化学療法の実施 消化器 対応していない
- 放射線治療の実施 対応している 対応していない
- 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能拡小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
- 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能拡小、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- 脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- 開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
- 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
- 奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・救急告示病院の指定を受けているか？
- ・大腿骨骨折への対応
- ・病院群輪番制への参加
- ・小児科病院二次輪番体制への参加

はい
はい
対応している
参加している
参加している
参加していない
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無
- ・訪問リハビリの実施
- ・通所リハビリの実施

はい
対応している
有り（病床数＝
対応している
対応している
対応していない
対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無
- ・訪問リハビリの実施（再掲）

はい
有り
有り
対応している
いいえ
無し
無し
対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

はい
はい
いいえ
いいえ

（はいの場合 施設名称）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑦ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？

定めている
定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・小児入院医療管理料の算定 している
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している
- ・小児科病院二次輸送体制への参加(再掲) 参加している
- ・小児科病院二次輸送体制への参加(再掲) 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑨ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・分娩の取扱い 対応している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 していない
- ・分娩の取扱い 対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑩ 災害医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか? はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか? はい
- ・EMIS(広域災害救急医療情報システム)への参加 参加している
- ・EMIS(広域災害救急医療情報システム)への参加 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑪ へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑫ 医師の研修・派遣機能(臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能)

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

⑬ 新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか? (重点医療機関か?) はい
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか? はい
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか? はい
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか? はい
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について当院は重症心身障害児者が入所されている病院です。

重度の知的障害、重度の身体障害をあわせもった方々が小児から成人までご利用されています。一般病院とは異なり、医療で命をつなぎながら、その人らしい生活を送る場所であり、また、個々の成長発達に応じた支援を行っています。今後は、施設利用者だけではなく、在宅で暮らしている重症児者への支援を行う必要があります。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において病院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。

重症児者の年齢は幅が広く、当院においても8歳から70歳を超えているご利用者がおられます。

年齢も異なることから、個別性が必要とされ、また、障害の程度も様々です。

当院においても、個別性を尊重した支援を行うため、意思決定支援に基づいた、個別支援計画の作成を行っています。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

バルツァ・ゴージェル

地域医療構想における

具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
 ※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	<H28年度>		<R3年度>		(b-a)	
	(a)許可病床数	許可病床数	(R7/2025年度)	H29年度からの増減	(b)	(b-a)
高度急性期						0
急性期						0
重症						0
軽症						0
回復期						0
慢性期		88	88	0		0
休養中 (今後再開する予定)						0
休養中 (今後廃止する予定)						0
(合計)		88	88	0		0
精神病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
 ・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を取容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器	消化器
化学療法の実施	乳房	泌尿器、生殖器
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。		

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	参加している	参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合、施設名称：_____）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・E M I S（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について整形外科を中心とし、入院は軽症急性期から回復期における機能を担うため一般を10対1の軽症急性期対応病床、療養を回復期リハビリテーション病棟とし近隣の患者さんの外傷後の在宅復帰への支援を実施しています。また、在宅復帰後の生活自立度の向上を支援できるように外来通院でのリハビリテーションの充実を図ります。

博愛会 松倉病院
地域医療構想における

具体的対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について
※地域において自院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときは明らかなるようご説明ください。

重症急性期を担う病院より急性期を脱した患者さんを受け入れ、患者さんが在宅復帰又は生活自立度の向上を目指すのを支援できるよう、整形外科に特化した運動器リハビリテーションの提供できる体制を取っています

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

近隣の病院や地域における施設の担当者や自院の得意分野や特性などの情報共有を行い、急性期病院へは在宅復帰へ向け、リハビリ継続目的での受入相談などまた、精神科領域の病院へは手術対応も含めた受入れ相談を実施。施設等へは、軽症外傷や骨折に対する手術を含めた入院相談などを実施。

※行が足りない場合は適時、行を挿やしてください。複数枚になっても結構です。

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度> (a) 許可病床数		<R3年度> 許可病床数		(b) 将来 (R7/2025年度)		(b-a) H28年度からの増減	
	重症	軽症	重症	軽症	重症	軽症	重症	軽症
一般病床	27	27	27	25	27	0	0	0
療養病床	0	40	40	35	40	40	0	0
病床 (今後再開する予定)	40	0	0	-40	0	0	0	0
病床 (今後廃止する予定)					0	0	0	0
(合計)	67	67	67	60	67	0	0	0
精神病床								
介護医療院								

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は逆時、行を増やしてください。複製になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
手術の実施	肺、呼吸器	消化器
化学療法の実施	乳腺	泌尿器、生殖器
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。		

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血（くも膜下出血を含む）への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携パスへの参加	参加している	参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り 病床数=40床 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑥ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称： _____）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携・機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 している
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

⑩へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

⑪周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・分娩の取扱いは 対応している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

⑫災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能停止等）について記入してください。

1... 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当会は、奈良東九条病院と旧稲田病院から承継した32床の新病院にて、東九条町・神殿町を中心とする地域（当会1次医療圏）の医療・福祉・介護の包括的なネットワークのコアとしての役割を担っています。（旧稲田病院は、別途報告）奈良東九条病院は、2次医療圏での急性期経過後のホストアキュート・サブアキュートとして回復期の機能と、1次医療圏での在宅や介護施設等の急性増悪した患者の受入れを行う地域に根差した「面倒見の良い」として、外来・保健・在宅・入院・介護サービスを提供する地域医療ネットワークのコアの役割を果たして参ります。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において真院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

奈良東九条病院は現在、外科・内科・整形外科を主な診療科として、回復期・慢性期の患者を中心に、外来・入院医療を行い、外科・整形外科の手術も行っています。2次医療圏では、急性期病院、連携する診療所から、回復期の患者の受入れを行っています。併せて、急性期病院や透析クリニックの長期的な入院加療を要する人工透析患者を受入れ、看取りまでの役割を果たしております。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

病院をコアとして、住宅型有料老人ホーム、介護施設、診療所、薬局等と協働し、ライフサイクルに合わせた医療、福祉、介護が提供できる「医療福祉介護エリア」を作ってまいります。このため、1次医療圏にある各施設の皆様にご協力をお願いして参ります。入院退院支援でも、必要に応じて、ケアマネ・介護事業者を含むカンファレンスを行い、スムーズな移行に努めて参ります。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

奈良東九条病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1～2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	<H28年度> (a)許可病床数		<R3年度> 許可病床数	<b-a> (b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	重症	軽症			
一般病床	急性期	回復期	60	60	0
療養病床	回復期	慢性期		50	0
		休養中 (今後再開する予定)			0
	休養中 (今後廃止する予定)				0
	(合計)	60	60	60	0
精神病床					0
介護医療院					0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1～R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
手術の実施	消化器	乳腺・泌尿器・生殖器
化学療法の実施	対応している	対応していない
放射線治療の実施	対応している	対応していない
拠点病院等の指定	がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院	

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施	対応している	対応していない
心疾患に対する外科手術の実施	対応している	対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

回復期・慢性期領域であれば対応。

長期間の入院、在宅復帰のためのリハビリ継続等、柔軟に対応可能。

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか?	はい	いいえ
脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施	対応している	対応していない
脳動脈クリッピング術	対応している	対応していない
開頭血腫除去術	対応している	対応していない
脳出血(くも膜下出血を含む)への対応	対応している	対応していない
血栓除去術等の脳血管内手術	対応している	対応していない
脳血管疾患等への早期リハビリの実施	対応している	対応していない
奈良県脳卒中地域連携バスへの参加	参加している	参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能制小、機能停止等）について記入してください。

回復期・慢性期の疾患対応可能。
 長期間の入院、在宅復帰のためのリハビリ継続等、柔軟に対応可能。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- 大腿骨折への対応 対応している 対応していない
- 病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能制小、機能停止等）について記入してください。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数＝床） 無し
- 訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- 通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能制小、機能停止等）について記入してください。

⑥ 在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- 当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- 在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- 訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能制小、機能停止等）について記入してください。

訪問診療・訪問看護を行うことを予定しています。
 看護ステーションの設置もタイミングを見て行う予定です。

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能制小、機能停止等）について記入してください。

訪問診療・訪問看護を行うことを予定しています。
 看護ステーションの設置もタイミングを見て行う予定です。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能制小、機能停止等）について記入してください。

⑨へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ

- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

陽性患者の入院受け入れは不可。後方支援として回復者の受け入れは可。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当会は、奈良東九条病院と旧稲田病院から承継した32床の新病院にて、東九条町・神殿町を中心とする地域（当会1次医療圏）の医療・福祉・介護の包括的なネットワークのコアとしての役割を担って参ります。
旧稲田病院を継承する新病院（以下「新病院」という）は、奈良東九条病院と連携し慢性期の病院としての役割を果たして参ります。

旧稲田病院 地域医療構想における 具体的対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかにしてください。

新病院は、当会1次医療圏に増加している「独居・高齢者・自立生活が困難な医療を必要とする患者様」を対応する病院として、地域医療での役割を果たして参ります。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかにしてください。

当会は、奈良東九条病院をコアとして、住宅型有料老人ホーム、介護施設、診療所、薬局等と協働し、ライフサイクルに合わせた医療、福祉、介護が提供できる「医療福祉介護エリア」を作ってまいります。このため、1次医療圏にある各施設の皆様に協力をお願いして参ります。

新病院は、この中で、(2)の役割を果たす役割を持ち、地域における在宅医療での増悪や長期的治療の必要な患者様を受け持つ病院として、地域に貢献して参りたいと考えています。

※行が足りない場合は通時、行を横やしてください。横敷故になっても結構です。

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

	(a)		最大使用 病床数 (注1)	(b)	(b-a)
	<H28年度> 許可 病床数	<R3年度> 許可 病床数			
一般病床	高度急性期	床	床	床	床
	急性期	重症	床	床	床
		軽症	32床	床	床
回復期	床	床	床	床	
療養病床	慢性期	床	床	32床	床
	休棟中(今後 再開する予 定)	床	32床	床	床
	休棟中(今後 廃止する予 定)		床	床	床
	(合計)	32床	32床	32床	床
精神病床	床	床	床	床	床
介護医療院				床	床

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

奈良医療圏において、質の高い集中的なリハビリテーションを提供する病院として機能すること。主に回復期リハビリテーション病棟の役割でも高い在宅復帰率、リハビリテーション分野における重症患者の改善や実績指数の機能充実を図り、地域に貢献したい。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときはあらかじめお知らせください。

回復期リハビリテーション病棟を通じて、急性期病棟の在院日数の短縮化に貢献する。また退院後の在宅生活を見据えた身体機能の向上や住宅改修アドバイス、訪問リハビリテーションにて在宅生活での支援などを行う。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにしてください。

急性期病院より早期入院患者の受け入れ体制構築に向けた密な連携。
高い在宅復帰率実現に向け、在宅サービスを中心とした介護保険分野との密な連携。
また、在宅復帰困難例では、介護保険施設との連携。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

医療法人せいわ会

登美ヶ丘リハビリテーション病院

地域医療構想における対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえ具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

	高度急性期		急性期		回復期		慢性期		休養中 (今後再開する予定)		休養中 (今後廃止する予定)		合計	
	重症	軽症	許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数
一般病床					122	122								122
療養病床														
精神病床														
介護医療院														

(b) 将来 (R7/2025年度)	(b-a) (H28年度からの増減)
	0
	0
	0
122	0
	0
	0
	0
122	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。複数該当になっても結構です。
※行が足りない場合は適時、行を追加してください。

① がん

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 手術の実施 対応している 対応していない
- 化学療法の実施 対応している 対応していない
- 放射線治療の実施 対応している 対応していない
- 拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない
- 心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

③ 脳卒中

- 当該領域について対応しているか? はい いいえ
- 脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない
- 脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない
- 開頭血腫除去術 対応している 対応していない
- 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない
- 血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない
- 脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない
- 奈良県脳卒中地域連携パスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ はい いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している 対応していない
- ・病院群輪番制への参加 参加している 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している 対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り (病床数=122床) 無し
- ・訪問リハビリの実施 対応している 対応していない
- ・通所リハビリの実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り 無し
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい いいえ
 - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい いいえ
- （はいの場合 施設名称：)

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 していない
- ・小児科病院二次輸送体制への参加（再掲） 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している 対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

⑩新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能強化等）について記入してください。

現在からの機能変更なし。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
面倒見の良い病院として地域密着型（亜急性期、慢性期の医療）と特化機能（回復
期リハビリテーションなど）を推進したい

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において真院が担わない又は縮小する役割、機能ができるときはより明らかにできるようにご説明ください。

地域密着型と特化機能（回復期リハビリテーションなど）の推進

急性期の治療を終えられた方の亜急性期・慢性期の受け入れ

- ・脳血管疾患（脳出血後、脳梗塞後など）の手術後のリハビリテーション
- ・整形疾患（大腿骨頸部骨折、骨盤骨折など）の手術後のリハビリテーション
- ・外科的手術や肺炎等の治療時の安静により廃用症候群のリハビリテーション
- ・悪性腫瘍見取り、高齢者見取りを含め長期療養を要する疾患；医療療養病床対象
繰り返す肺炎など急性期の治療を終えられた方
- ・介護老人保健施設、有料老人ホームなど入所までの橋渡し
生活期への移行支援

（急性期病院→当院→介護施設）、機能分化；急性期病院の受け皿としての機能

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をでき
るかぎり明らかにするようにご説明ください。

令和3年度医療機能再編支援事業（病院間連携を行う病院への支援業務）に参加
近隣医療機関と現在も連携はさせて頂いてますが、更に連携を深めるため、支援事
業に参加。現在詳細打ち合わせ中

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

奈良セントラル病院

地域医療構想における 具体的対応方針

令和3年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について
※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R3年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告の数値を記入してください。

一般病床 療養病床	＜H28年度＞		＜R3年度＞		(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
	(a)許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数		
高度急性期	0	0	0	0	0	0
急性期	0	0	0	0	0	0
慢性期	34	34	34	34	34	0
回復期	49	45	45	45	45	-4
慢性期	28	32	32	32	32	4
休養中 (今後再開する予定)	0	0	0	0	0	0
休養中 (今後廃止する予定)	0	0	0	0	0	0
(合計)	111	111	111	111	111	0
精神病床	0	0	0	0	0	0
介護医療院	0	0	0	0	0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
(注1) 最大使用病床数
1年間(R2.4.1~R3.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

当該領域について対応しているか？

はい いいえ

手術の実施 肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、生殖器 対応している 対応していない

化学療法の実施 対応している 対応していない

放射線治療の実施 対応している 対応していない

拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院 奈良県地域がん診療連携支援病院 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在もターミナルを対応。がん治療は積極的に実施しておりません

② 心筋梗塞等の心血管疾患

当該領域について対応しているか？

はい いいえ

緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない

心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

循環器科なく、対応しておりません

③ 脳卒中

当該領域について対応しているか？

はい いいえ

脳卒中に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している 対応していない

脳動脈クリッピング術 対応している 対応していない

閉頭血腫除去術 対応している 対応していない

脳出血（くも膜下出血を含む）への対応 対応している 対応していない

血栓除去術等の脳血管内手術 対応している 対応していない

脳血管疾患等への早期リハビリの実施 対応している 対応していない

奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

脳外科専門医が在籍。手術等の急性期対応は実施していませんが、急性期を脱した治療、特にリハビリテーションに力を入れています
機能強化も検討しています

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 救急告示病院の指定を受けているか？ はい
- 大腿骨折への対応 対応している
- 病院群輪番制への参加 参加している
- 小児科病院二次輪番体制への参加 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

今のところ救急医療に対応する予定はありません

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 脳卒中等循環器病への早期リハビリ 対応している
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り（病床数=45床）
- 訪問リハビリの実施 対応している
- 通所リハビリの実施 対応している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

特に力を入れている領域
脳疾患、整形外科患のほか、廃用性症候群も対応しています
機能強化も検討しています

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- 当該領域について対応しているか？ はい
- 在宅療養支援病院の届出の有無 有り
- 在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り
- 訪問リハビリの実施（再掲） 対応している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

現在は施設への訪問診療のみ実施。在宅診療を行っている他医療機関と連携し、急な入院の受け入れを実施しており、在宅医療の後方支援に力を入れています
今後については、ニーズに合わせて検討していきたいと考えています

⑦ 訪問看護

- 病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい
- 同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい

（はいの場合 施設名称： しいえ しいえ）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

地域の需要を検討し、今後検討していきたいと考えています

⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

地域の研修会にも参加。他医療機関と連携深め、ACPを取り組んでいきたい

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 していない
- ・小児科病院二次輸送体制への参加（再掲） 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

小児科なく、今後も対応する予定はありません。

⑩産科医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・分娩の取扱い 対応している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

産科なく、今後も対応する予定はありません。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

災害における拠点病院ではありませんが、地域の災害協力病院として機能は果たしたいと考えています

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

予定はありません

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

予定はありません

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院を受け入れているか？（重点医療機関か？） はい
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

感染に関する専門医、呼吸器専門医も不在のため積極的には行えないが、当院で出来る範囲（予防接種や検体検査など）は実施し、地域貢献を考慮しています